



MANAGER

©2009 J-MAC SYSTEM, INC. All rights reserved.

このソフトウェアの著作権は、株式会社ジェイマックスシステムにあります。

VOX-BASE PERSONAL/MANAGER User's Guideは、株式会社ジェイマックスシステムが作成したものです。

このソフトウェアおよび本書の一部または全部を、当社に無断で使用・複製・転載することはお断りいたします。

このソフトウェアの仕様、および本書の内容は、その後の改良や改善などに伴い、予告なしに変更することがあります。

VOX-BASEは、株式会社ジェイマックスシステムの日本における登録商標です。

そのほか、本書に記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

このガイドの使い方

このガイドの読み方

このガイドは、VOX-BASE/MANAGERの操作方法を解説しています。このガイドの概要は次のようになっています。

第1章 VOX-BASE/MANAGERの概要

この章では、VOX-BASE/MANAGERのしくみや特長について説明しています。

第2章 VOX-BASE/MANAGERの操作

この章では、ウィンドウの各部名称や働き、ウィンドウの調整や検査オブジェクトの選択方法などのVOX-BASE/MANAGERの基本の操作方法について説明しています。

第3章 検査画像の表示・閲覧

この章では、検査画像を表示、閲覧するための操作方法を説明しています。

第4章 保管

この章では、アクティブDICOMフォルダ内の画像をアーカイブする方法を説明しています。

第5章 DICOMファイルの作成

この章では、TWAIN対応機器を利用して画像を取り込み、検査画像に追加する方法について説明しています。

第6章 VOX-BASE/MANAGERの設定

この章では、VOX-BASE/MANAGERに関する設定について説明しています。

付録 DICOMファイル仕様

付録では、MANAGERで表示できるDICOMファイルの形式一覧、およびMANAGERによる画像取り込みで作成されるDICOMファイルの仕様一覧を挙げています。

ガイドに使用している図は、操作の説明のためのものです。設定内容やデータなどは、実際にお使いいただく製品と若干異なる場合があります。

このマニュアルは、Windowsの基本的な使い方をマスターしていただいていることを前提に説明しています。

ガイドでの表記

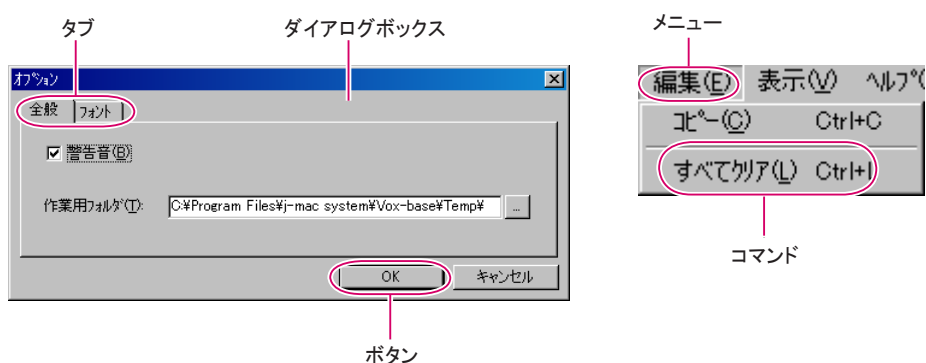
メニュー・コマンド・設定項目などの表記

メニュー名、コマンド名、ダイアログボックス名、ダイアログボックス内の項目名やボタン名などは、**[]**で囲んで表記します。

ガイドでの表記例

[オプション]ダイアログボックスの[全般]タブ上にある[警告音]をチェックします。[OK]をクリックします。

[編集]メニュー→[すべてクリア]をクリックします。



アイコン・記号の見方

アイコン・記号	種類	説明
	重要	その機能を使用するうえで、注意していただきたいことです。
	参考	操作手順についての補足、ヒントなど知っておくと便利な情報や、本文の内容に関する、より詳しい情報です。
	手順	操作手順の説明です。
※	注記	本文中の注記です。本文中に※とあるときは、その下に説明があります。

参照ページの見方

[下線つきの青文字]のように表示された部分をクリックすると、参照ページへジャンプします。

- 別の章のページへリンクするときの例:
詳細は、「第〇章 △△△△」の**[下線つきの青文字]**をご覧ください。
- 同じ章の中のページへリンクするときの例:
詳細は、**[下線つきの青文字]**をご覧ください。

目次

第1章	VOX-BASE/MANAGERの概要	1
	VOX-BASE/MANAGERのご紹介	1
	VOX-BASE/MANAGERのしくみ	2
第2章	VOX-BASE/MANAGERの操作	4
	起動と終了	4
	各部の名称と働き	5
	メニューとツールバーボタン	6
	ウィンドウの調整	9
	検査画像の選択	12
第3章	検査画像の表示・閲覧	13
	検査画像を表示するまでの操作の流れ	13
	表示するDICOM画像フォルダの選択	14
	検査画像の検索	15
	検査画像の表示	17
	DICOMフォルダの自動更新表示	19
	検査属性の修正	20
	サムネイル画像の変更	22
	画像をVOX-BASE/VIEWで表示する	23
	複数の検査画像をVIEWで表示する	24
	VIEWで表示中の検査画像を確認する	25
	VIEWで表示中の画像を閉じる	26
	検査画像のコピー	26
	検査画像の削除	27
	DICOM転送	28
	検査画像一覧の更新	31
	リビルド	32

第4章	保管	33
	アーカイブ	33
	アーカイブ済みファイルの削除	40
	アーカイブ済みメディアの参照	41
	オフライン画像の検索	42
	オフライン画像の表示	43
	リストア	44
	リストアファイルの削除	46
	Archiveフォルダのバックアップ	46
	DICOM規格メディアの作成	47
	CDラベル印刷	51
第5章	DICOMファイルの作成	53
	原稿の取り込みの流れ	53
	TWAIN対応機器の選択	54
	原稿の取り込み	54
	画像タイプの追加・修正・削除	58
第6章	VOX-BASE/MANAGERの設定	62
	[全般]タブの設定	62
	[表示]タブの設定	65
	[フォルダ]タブの設定	66
	[DICOMフォルダ]タブの設定	67
	[ビューア]タブの設定	70
	[モニター]タブの設定	71
付録	DICOMファイル仕様	72
	MANAGERがサポートするDICOMファイル	72
	MANAGERが作成するDICOMファイル仕様	73

第1章

VOX-BASE/MANAGERの概要

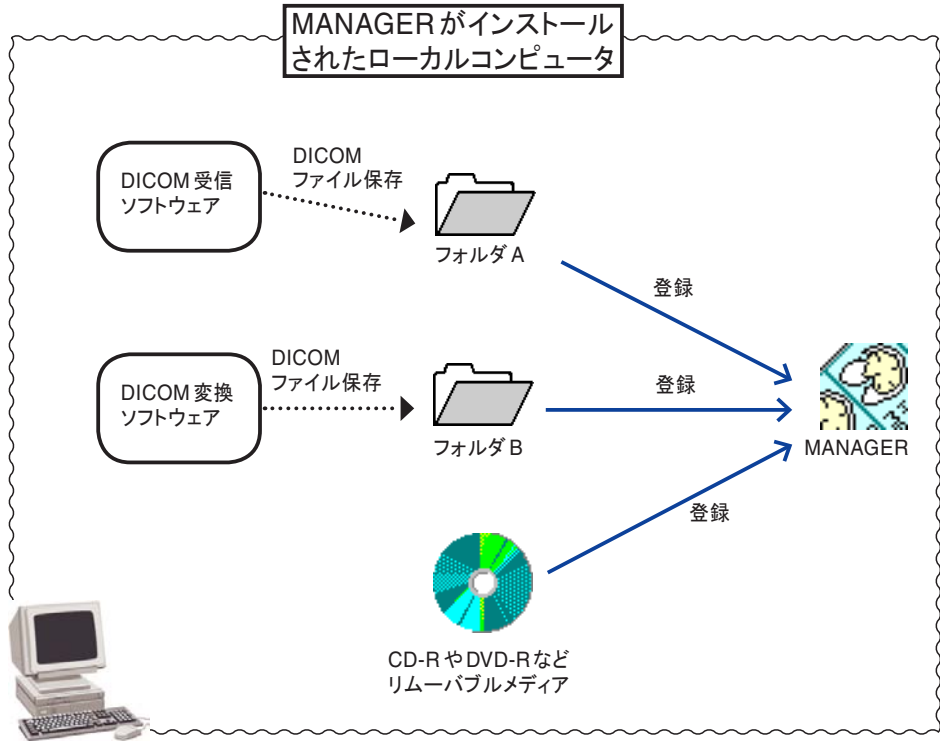
VOX-BASE/MANAGERのご紹介

VOX-BASE/MANAGER (以降、MANAGER)は、ディスクやディレクトリに自由にアクセスし、検査、またはシリーズ単位で検査画像を一覧にしてサムネイル表示する、画像管理アプリケーションです。MANAGERには次のような特長があります。

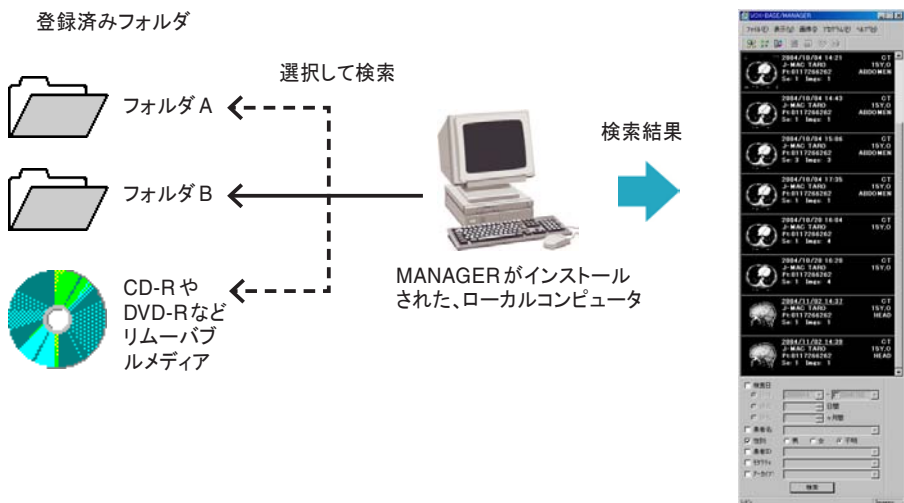
- 複数のディスクやディレクトリを管理できます。
- MO、FD、CD-ROMなどのリムーバブルメディアのDICOM画像を直接表示できます。
- ネットワーク上の他のハードディスクにある画像ファイルにアクセスできます。
- 検査画像がサムネイル表示されるので、検査の種類や部位が一目でわかります。
- モダリティ、検査日、患者名など、必要に応じた多彩な管理ができます。
- 検査日、患者名、患者ID、性別、モダリティなど複数の検索条件を指定して、必要な画像を素早く検索できます。
- MANAGERは弊社ビューアアプリケーション「VOX-BASE/VIEW」(以降、VIEW)連携しているため、見たい画像を簡単にVIEWで大きく表示できます。また、MANAGERから、DICOM検索/DICOM受信/DICOM変換/DICOM送信/DICOMプリントアプリケーションを起動でき、指定したDICOMファイルの送受信や印刷を簡単に行えます。
- フレームのレイアウトの位置やサイズを変更、表示サイズやカラム数を自由に変更できます。また、使いやすいフレームレイアウトに簡単に変更できます。
- 操作方法は、標準的はWindowsのアプリケーションと同じです。特別な操作方法を覚える必要はありません。

VOX-BASE/MANAGERのしくみ

ここでは、MANAGERのしくみについて図解します。まず、MANAGERで一覧表示の対象にする画像フォルダを登録します。



MANAGERで一覧表示するフォルダを登録したフォルダから選択します。条件を指定して検索すると、検索条件に一致する検査画像のみを一覧表示させることができます。

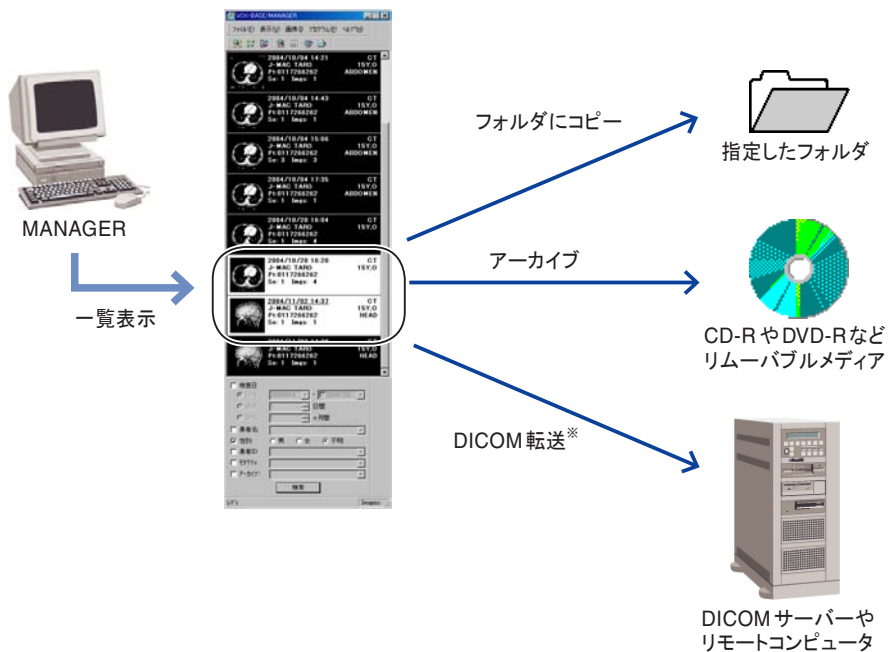


検索結果が一覧表示されます

また、MANAGERは以下のような便利な機能を備えています。

- 一覧表示された画像の中から必要な検査画像を別フォルダにコピー
- 必要な検査画像を、大容量リムーバブルディスクでアーカイブ(保管)
- 検査画像を他のコンピュータのフォルダへDICOM転送※

※ DICOM転送には、弊社DICOM転送アプリケーション「VOX-BASE/TRANSMIT」が必要です。



※DICOM転送には、弊社DICOM転送アプリケーション「VOX-BASE/TRANSMIT」が必要です

第2章

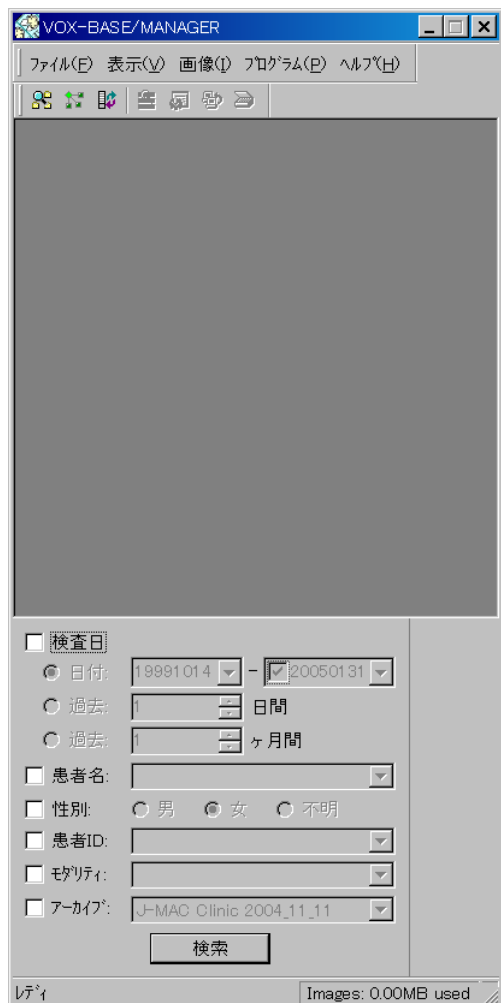
VOX-BASE/MANAGERの操作

起動と終了

MANAGERを起動する

手順  スタート → [プログラム] → [VOX-BASE II] → [Manager 2.6]をクリックします。

MANAGERが起動し、[VOX-BASE/MANAGER]ウィンドウ（以降、メインウィンドウ）が表示されます。



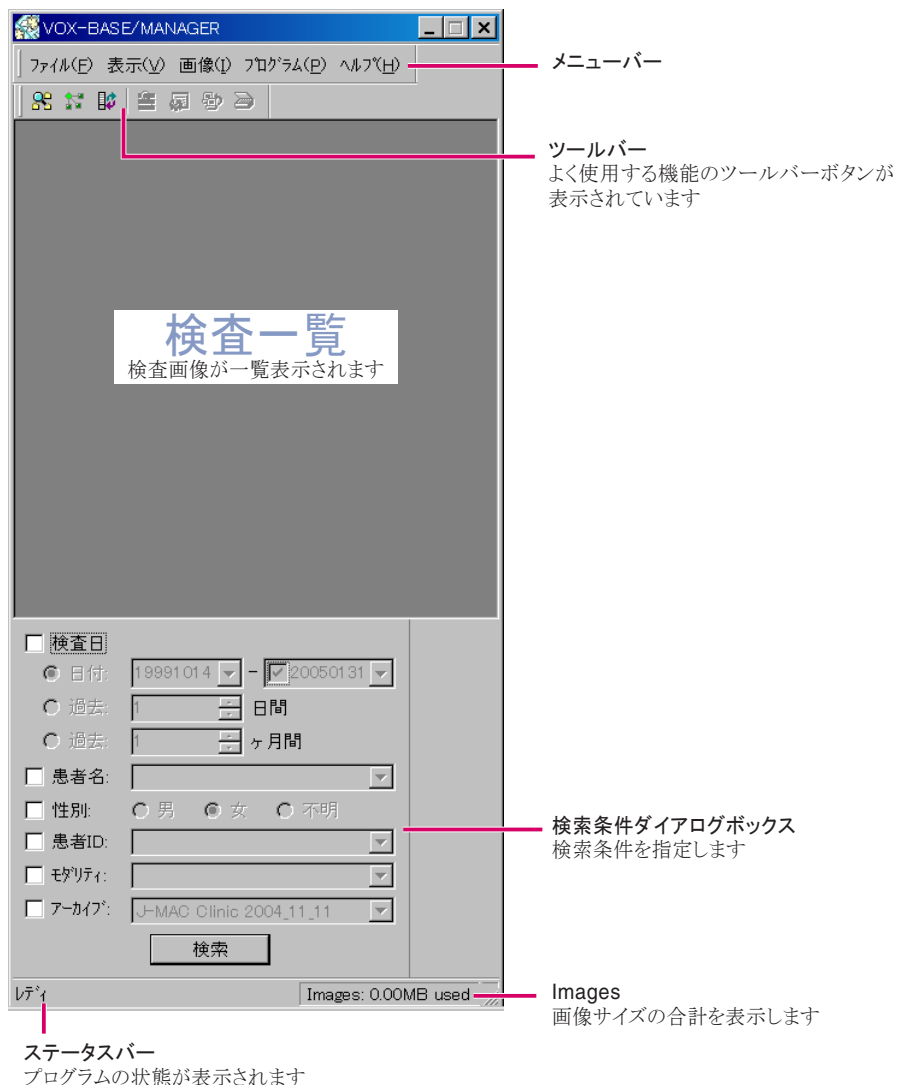
MANAGERを終了する

- 手順** [ファイル]メニュー → [終了]をクリックします。
メインウィンドウが閉じられ、MANAGERが終了します。

各部の名称と働き

ここでは、メインウィンドウの各部名称と機能、メニューについて説明します。

VOX-BASE/MANAGER ウィンドウ





メニューとツールバーボタン

[ファイル]メニュー


コマンド名	ツールバーボタン	機能	ショートカットキー	参照ページ
リビルド	—	データベースを再構築します。	—	P.32
アクティブDICOMフォルダの設定		検査画像を検索するフォルダを登録済みフォルダから選択します。	—	P.14 、 P.41
検査属性	—	検査部位名などを変更します。	—	P.20
アーカイブ	—	検査画像をアーカイブします。	—	P.34
アーカイブ済みファイルの削除	—	アーカイブ済みファイルを削除します。	—	P.40
リストア	—	オフラインの検査画像を、アクティブDICOMフォルダに再度コピーします。	—	P.44
リストアファイルの削除	—	リストア済みファイルを削除します。	—	P.46
TWAIN デバイスの選択	—	原稿をスキャンするTWAIN機器を選択します。	—	P.54
シリーズのインポート		原稿をスキャンします。	—	P.54
終了	—	MANAGERを終了します。	—	P.5

[表示]メニュー

コマンド名	ツールバーボタン	機能	ショートカットキー	参照ページ
最新の情報に更新		表示中の検索結果を、最新の情報に更新します。	—	P.31
シリーズ単位に展開		表示中の画像をシリーズ単位に展開します。	—	P.17
並べ替え	—	表示中の画像の順序を並べ替えます。	—	P.19
メニューバー	—	メニューバーの表示、非表示を切り替えます。	Ctrl + M	P.11
ツールバー	—	ツールバーの表示、非表示を切り替えます。	—	P.11
検索条件	—	検索条件の表示、非表示を切り替えます。	—	P.11


コマンド名	ツールバーボタン	機能	ショートカットキー	参照ページ
ステータスバー	—	ステータスバーの表示、非表示を切り替えます。	—	P.11
オプション	—	MANAGERに関する設定をする[オプション]ダイアログボックスを表示します。	Alt + Enter	P.62 ～ 71

[画像]メニュー

コマンド名	ツールバーボタン	機能	ショートカットキー	参照ページ
すべて選択	—	表示中の画像を、すべて選択します。	Ctrl + A	P.12
すべての選択を解除	—	選択中の画像をすべて解除します。	—	P.12
メディア保存	—	選択した画像をDICOM規格でメディアに保存します。	—	P.47
フォルダへコピー	—	選択した画像を指定したフォルダへコピーします。	—	P.26
フォルダから削除		選択した画像を削除します。	—	P.27
ビューアに表示	—	選択した画像をビューアで表示します。	—	P.23
DICOM転送	—	選択した画像を、サーバーやリモートコンピュータなどへDICOM転送します。	—	P.28

[プログラム]メニュー

コマンド名	ツールバーボタン	機能	ショートカットキー	参照ページ
ビューア	—	弊社ビューアアプリケーション「VOX-BASE/VIEW」を起動します。	—	—
DICOMクエリーサービス	—	弊社DICOM検索アプリケーション「VOX-BASE/QUERY」を起動します。	—	—
DICOM受信サービス	—	弊社DICOM受信アプリケーション「VOX-BASE/RECEIVE」を起動します。	—	—
DICOM変換	—	弊社DICOM変換アプリケーション「VOX-BASE/CONVERT」を起動します。	—	—

コマンド名	ツール バー ボタン	機能	ショート カットキー	参照 ページ
DICOM送信 サービス	—	弊社DICOM送信アプリケーション 「VOX-BASE/TRANSMIT」を起動します。	—	—
DICOMプリント サービス	—	弊社DICOMプリントアプリケーション 「VOX-BASE/PRINT」を起動します。	—	—
実行中の ビューア		起動中のビューアを、デスクトップ上で 最も手前に表示します。	Alt + X	P.25
CDラベル印刷	—	[CDラベル印刷]ダイアログボックスを 表示します。	—	P.51

[ヘルプ]メニュー

コマンド名	ツール バー ボタン	機能	ショート カットキー	参照 ページ
目次と キーワード	—	MANAGERのヘルプを表示します。	—	—
バージョン情報	—	MANAGERのバージョン情報を表示し ます。	—	—

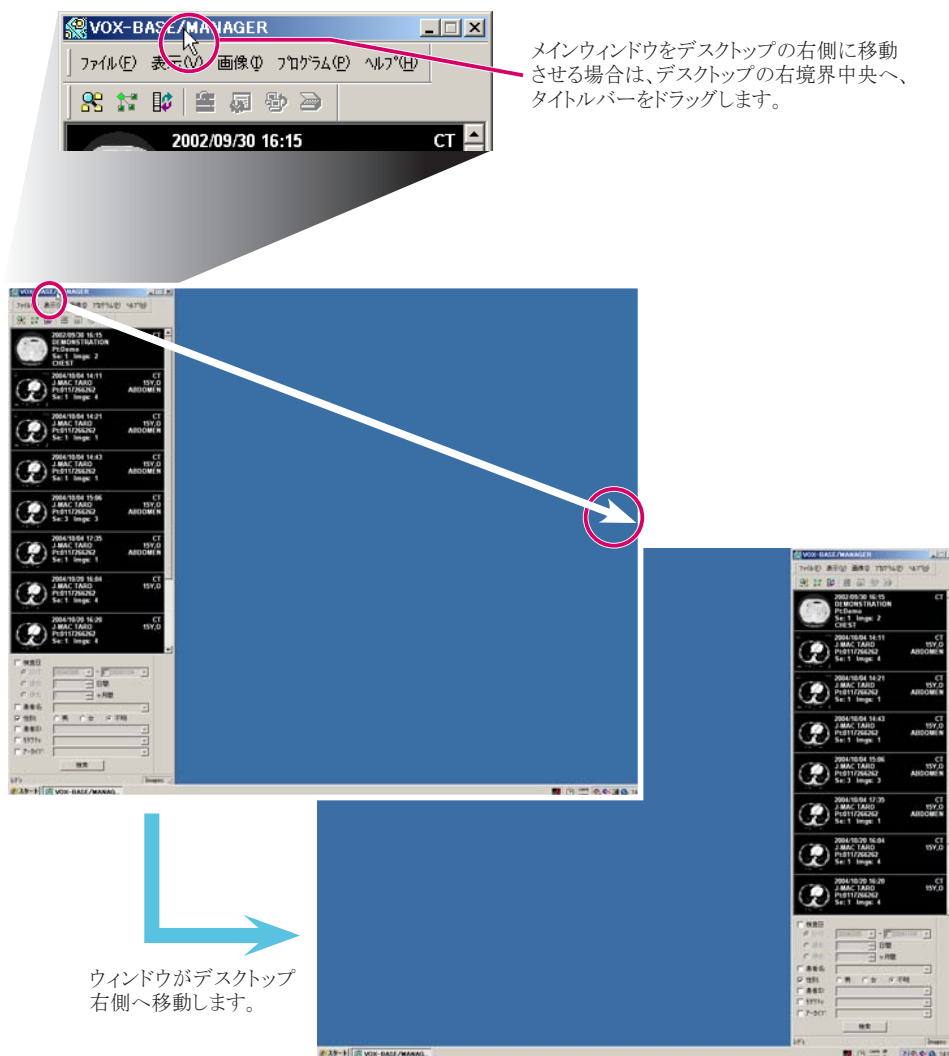
ウィンドウの調整

メインウィンドウは、表示位置を移動したり、サイズを変更して表示できます。

ウィンドウの位置を移動する

メインウィンドウは、デスクトップの上下左右のいずれかの端に接しており、デスクトップの周辺のみ移動できます。また、メインウィンドウの接している部分の長さは、デスクトップの高さ、または幅と常に一致しています。

- 手順** メインウィンドウのタイトルバーを、任意のデスクトップ境界の中央へドラッグします。メインウィンドウが任意のデスクトップ境界へ移動します。




ウィンドウのサイズを変更する

メインウィンドウのサイズを変更して、検査画像の表示列数や表示行数を増減できます。

手順 1. マウスポインタをメインウィンドウの境界に合わせます。

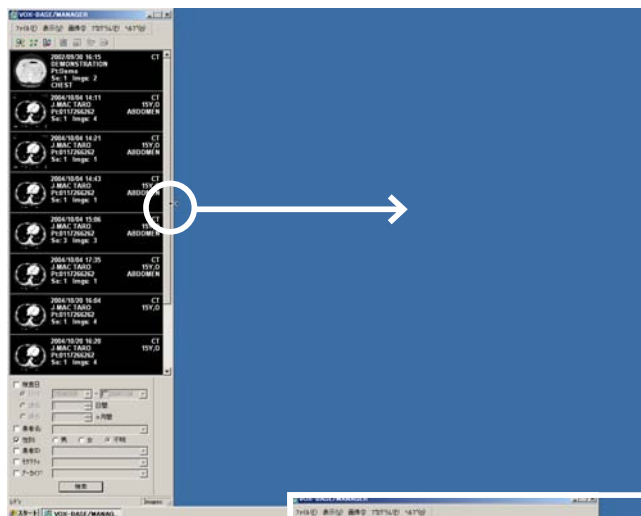
このときマウスポインタは、メインウィンドウがデスクトップ境界と接していない方のフレームに合わせてください。

マウスポインタの形が、 に変わります。



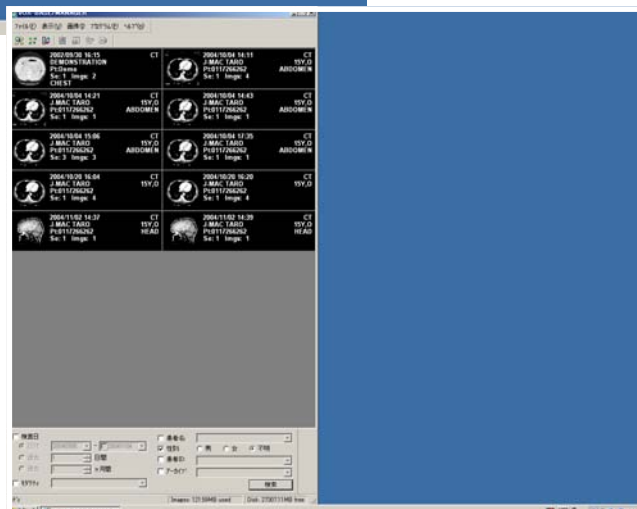
手順 2. 希望のサイズになるまでウィンドウ境界をドラッグします。

ウィンドウサイズが変更されます。



サイズを広げる方向に、ウィンドウ境界をドラッグします。


検査画像が2列に表示され、ウィンドウサイズが変更されます。



ツールの表示、非表示を切り替える

メニューバー、ツールバー、検索条件ダイアログボックス、ステータスバーはそれぞれ表示、非表示を切り替えられます。

手順 [表示]メニュー → [メニューバー / ツールバー / 検索条件 / ステータスバー]をクリックします。

各項目の表示・非表示が切り替わります。

コマンドの前にチェックマークが付いている時、メニューバー / ツールバー / 検索条件ダイアログボックス / ステータスバーはそれぞれウィンドウ上で表示されています。クリックするとチェックが外れ、各項目が非表示になります。



メニューバーを再度表示させるには

メニューバーを非表示にした場合、再度表示させるときに、メニューから選択できません。メニューバーを再度表示させるには、[Ctrl]キー+[M]キーを押します。もしくは、MANAGERを再起動します。

ツールバーボタンのサイズを変更するには

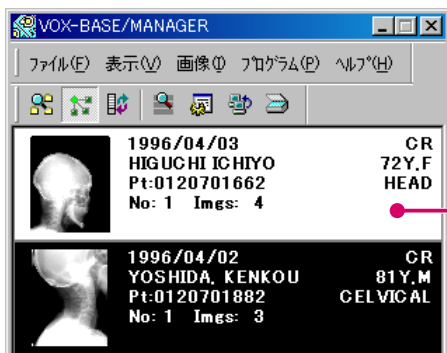
ツールバーボタンには、大小2種類のアイコンがあり、サイズを切り替えられます。大きいツールバーボタンを使用するには、[オプション]ダイアログボックスの[表示]タブで、[大きいボタン]をチェックします。詳細については「[\[表示\]タブの設定](#)」をご覧ください。

検査画像の選択

ここでは、MANAGERで一覧表示される検査画像の選択、および選択の解除の手順について説明します。

検査画像を選択する

- 手順** メインウィンドウ上で、選択する検査画像をクリックします。
選択した検査画像の背景が反転します。



クリックすると検査画像の背景が反転し、
選択された状態になります。

複数の検査画像を選択する

- 手順**
1. 選択する検査画像をクリックします。
 2. 次のいずれかの操作を行います。
 - 連続した検査画像を選択する場合は、最後の検査画像を[Shift]キーを押しながらクリックします。
 - 隣接していない検査画像を選択する場合は、各検査画像を[Ctrl]キーを押しながらクリックします。

すべての検査画像を選択する

- 手順** 次のいずれかの操作を行います。
- [画像]メニュー → [すべて選択]をクリックします。
 - [Ctrl]キーを押しながら、[A]キーを押します。

検査画像の選択を解除する

- 手順** [画像]メニュー → [すべての選択を解除]をクリックします。
選択中の検査画像の選択がすべて解除されます。

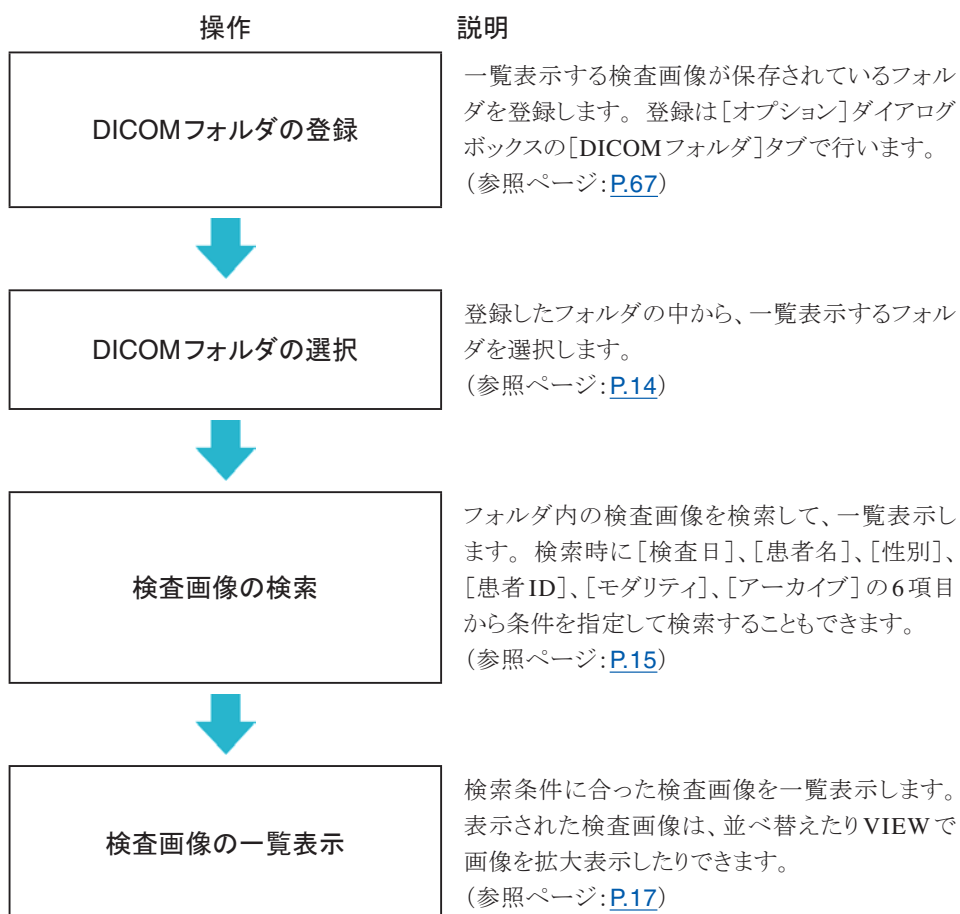
第3章

検査画像の表示・閲覧

検査画像を表示するまでの操作の流れ

ここでは、MANAGERで検査画像を表示するまでの全体の流れについて説明します。それぞれの操作方法については参照ページをご覧ください。

フローチャート



表示する DICOM 画像フォルダの選択

DICOM 画像ファイルが保存されているフォルダを選択して、メインウィンドウに検査画像を一覧表示します。




検査画像を表示させる前に

検査画像を一覧表示させるには、DICOM 画像フォルダを [オプション] ダイアログボックスであらかじめ登録する必要があります。DICOM 画像フォルダの登録方法は、[「\[DICOM フォルダ\] タブの設定」](#)をご覧ください。

DICOM 画像フォルダを選択する



1. 次のいずれかを実行します。

-  (アクティブ DICOM フォルダの設定) をクリックします。
- [ファイル] メニュー → [アクティブ DICOM フォルダの設定] をクリックします。
登録済みの DICOM 画像フォルダが表示されます。

2. 表示するフォルダ名をクリックします。

メインウィンドウに、検査画像が一覧表示されます。



アーカイブメディアの表示方法

アーカイブメディアの表示方法は、「第4章 保管」で説明しています。詳しくは[「オフライン画像の表示」](#)をご覧ください。



データベースファイルを削除しないでください

DICOM フォルダを選択した時点で、VOX-BASE プログラムフォルダ直下に Microsoft Access データベース形式ファイル (.mdb) とテンポラリファイル (.tmp) が作成されます。これらのファイルは、処理の効率化のために必要なファイルです。削除しないよう、ご注意ください。

検査画像の検索

MANAGERでは、選択したDICOM画像フォルダに対し、検査日、患者名、性別、患者ID、モダリティ、アーカイブの6つの項目を指定して、検査画像の多様な絞り込み検索ができます。

手順 1. 検索条件ダイアログボックスで、検索する条件にチェックをつけ、条件を指定します。



複数の条件を指定したときは、その条件をすべて満たす検査画像が検索されます (AND検索)。指定できる条件は、次のとおりです。

◆ 検査日

特定の検査日で検索するには、[検査日]をチェックし、対象にする検査日を[日付]、[過去(日間)]、または[過去(ヶ月間)]から選択します。

● 日付

検索する日付を「yyyymmdd」形式で入力します。左側の[日付]欄だけに入力した場合、入力した日の検査のみが検索対象になります。両方の[日付]欄を指定した場合、指定した期間の検査が検索対象になります。なお、[日付]欄の[▼]をクリックすると、カレンダーが表示されます。カレンダーの日付をクリックすると、[日付]欄に入力されます。

● 過去(日間)

検索日から、指定した日数の検査が、検索対象になります。

● 過去(ヶ月間)

検索日から、指定した月数の検査が、検索対象になります。

◆ 患者名

特定の患者名で検索するには、[患者名]をチェックし、患者名を入力します。[患者名]欄の[▼]をクリックすると、過去に検索した患者名から選択できます。患者名は、日本語、および英字で入力できます。半角64文字(全角32文字)以内で入力します。任意の文字を示す「*」(アスタリスク)、および任意の1文字を示す「?」(疑問符)を使ったワイルドカード検索もできます。

◆ 性別

性別で検索するには、[性別]をチェックし、[男]、[女]、[不明]のいずれかを選択します。

◆ 患者ID

特定の患者IDで検索する場合は、[患者ID]をチェックし、患者IDを入力します。[患者ID]欄の[▼]をクリックすると、過去に検索した患者IDを指定できます。患者IDは、半角英数字のみ入力できます。半角64文字以内で入力します。任意の文字を示す「*」（アスタリスク）、および任意の1文字を示す「?」（疑問符）を使ったワイルドカード検索もできます。

◆ モダリティ

特定のモダリティで検索する場合は、[モダリティ]をチェックし、検索するモダリティの種類を半角英字16文字以内で入力します。日本語入力はできません。[モダリティ]欄の[▼]をクリックすると、過去に検索したモダリティを指定できます。任意の文字を示す「*」（アスタリスク）、および任意の1文字を示す「?」（疑問符）を使ったワイルドカード検索もできます。

◆ アーカイブ

特定のアーカイブで検索する場合は、[アーカイブ]をチェックし、[▼]をクリックして検索するアーカイブを選択します。

アーカイブの検索手順の詳細は、「[第4章 保管](#)」をご覧ください。

2. 検索条件ダイアログボックスの[検索]をクリックします。

指定した条件で絞り込まれた検査画像が、メインウィンドウに表示されます。



ワイルドカード検索

患者名、患者ID、モダリティを検索条件に指定する際に、「*」（アスタリスク）、および「?」（疑問符）のワイルドカード文字を使った検索ができます。

• 「*」を使用する場合

0字以上の文字列が「*」で代用されます。

【例】

*ダ → 「キダ」や「ホンダ」など、後方一致の文字列が検索されます。

ヤ* → 「ヤスダ」や「ヤマナカ」など、前方一致の文字列が検索されます。

ズ → 「スズキ」や「シズオカ」など、指定した文字が含まれる文字列が検索されます。

• 「?」を使用する場合

1文字が「?」で代用されます。

【例】

?ダ → 「オダ」や「ワダ」などが検索されます。

マ?ダ → 「マスダ」や「マツダ」などが検索されます。


検査画像の表示


MANAGERでは、検査画像を検査単位、またはシリーズ単位で、サムネイル画像とともに一覧表示します。また、表示順の並べ替えもできます。

一覧表示を切り替える

検査画像のサムネイル表示を検査単位、またはシリーズ単位に切り替える手順です。

手順 次のいずれかを実行します。

-  (シリーズ単位に展開) をクリックします。
- [表示]メニュー → [シリーズ単位に展開] をクリックします。

 が押された状態 (= [表示]メニューの [シリーズ単位に展開] コマンドがチェックされた状態) になると、サムネイル画像はシリーズ単位で表示されます。

検査単位で画像を一覧表示している場合

複数シリーズの中間のシリーズ画像を表示します。

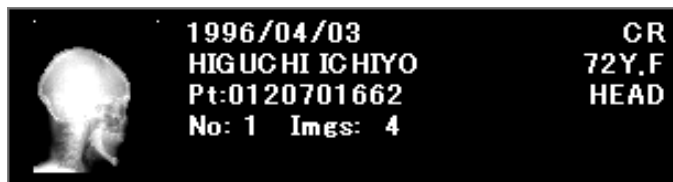
検査に複数のモダリティ、検査部位が含まれる場合、すべてのモダリティ、検査部位を表示することはできません。



検査画像の サムネイル	検査日時	モダリティ
	患者名	年齢、性別
	患者ID	検査部位
	シリーズ数 / 検査画像枚数	詳細部位、または 受付番号
	検査記述	

シリーズ単位で画像を一覧表示している場合

同一シリーズの画像の中で、最初に撮影された画像を表示します。ただしマルチフレーム画像の場合は、中間のフレームを表示します。



検査画像のサムネイル	シリーズ日時	モダリティ
	患者名	年齢、性別
	患者ID	検査部位
	シリーズ番号/シリーズ画像枚数	詳細部位、または受付番号
	シリーズ記述	

複数シリーズが表示されているときの検査画像は、以下のようになります。



シリーズの2番目以降は、背景色2*で設定している色で表示されます。

※ 背景色は、[オプション設定]ダイアログボックスの[表示]タブで設定できます。

検査画像の並べ替え

表示されている検査画像の一覧は、[検査日時]、[患者名]、[患者ID]、[性別]、[モダリティ]、[検査部位]、[受付番号]、[アーカイブラベル]の項目で昇順、または降順で並べ替えられます。

- 手順** 1. [表示]メニュー → [並べ替え]から、並べ替えの基準にする項目（[検査日時]、[患者名]、[患者ID]、[性別]、[モダリティ]、[検査部位]、[受付番号]、[アーカイブラベル]）をクリックします。
- 選択した項目を基準に、検査画像が並べ替えられます。
選択されている項目の前に「●」が付きます。
2. 並び順を昇順、または降順に切り替えるには、[並べ替え]→[降順]をクリックします。
- 表示中の検査画像が、逆の順序で一覧表示されます。[降順]をクリックするたびに、表示順序が切り替わります。
検査画像が降順で表示されているときは、[降順]がチェックされています。

DICOM フォルダの自動更新表示

ローカルコンピュータで動作しているアプリケーションを使ってDICOMフォルダ内の検査画像を追加、あるいは削除した場合、[全般]タブの設定の[\[更新までの待ち時間\]](#)で設定した秒数が経過すると、自動的に検査画像の一覧に変更が反映されます。



DICOM フォルダが共有されている場合

自動更新表示機能は、OSに依存しています。他のユーザーと共有しているDICOMフォルダに検査画像を追加、あるいは削除した場合、変更は画像の一覧表示に自動的に反映されません。

検査属性の修正

MANAGERを使って、検査画像の検査部位、検査記述、およびシリーズ記述を修正できます。



1. 検査属性を修正する検査画像を選択します。

2. [ファイル]メニュー → [検査属性]をクリックします。

[検査属性]ダイアログボックスが表示されます。

選択した検査画像の検査属性が表示されています。修正できる属性がチェックされています。

検査属性

2004/07/15 10:40 PT/0
KAMONO, CHOMEI (76Y,M) 19890712

サムネイル(D)...

検査部位(B):

- 脳
- 頸部
- 脊髄・脊椎
- 鎖骨
- 胸部
- 心臓
- 腹部
- 肝臓
- 脾臓
- 腎・副腎
- 骨盤
- 下肢
- 上肢

検査記述(S):
Early

シリーズ記述(E):
MIP

同時にDICOMファイルを更新する(U)

OK キャンセル

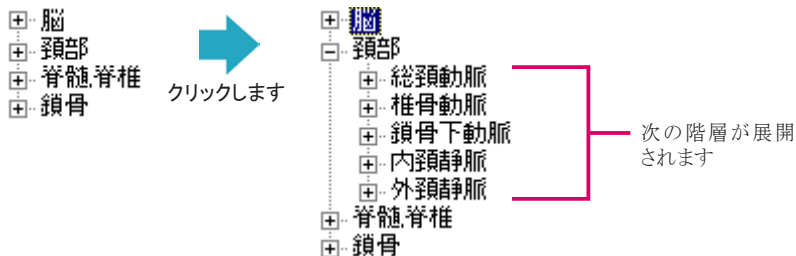
3. 必要に応じて各属性を修正します。修正しない属性は、チェックを外します。
各属性の修正手順は次のとおりです。

◆ 検査部位

検査部位一覧で、[+]が表示されている部分には次の階層があります。

- 1) 次の階層を表示するには、[+]をクリックします。または、文字列をダブルクリックします。

[+]が、[-]に変わり、選択されている部位が反転します。



- 2) 任意の検査部位をクリックして、選択します。

◆ 検査記述

[検査記述]欄に、半角64文字(全角32文字)以内で入力して修正します。

◆ シリーズ記述

[シリーズ記述]欄に直接入力して、記述を修正します。

4. 同時にDICOMファイルを更新する場合は、[同時にDICOMファイルを更新する]をチェックします。

[同時にDICOMファイルを更新する]のチェックを外している場合は、[検査属性]ダイアログボックスで設定した内容がデータベースに保管され、DICOM転送時やファイルのコピーの際にファイルが書き換えられます。



[同時にDICOMファイルを更新する]をチェックした場合

[同時にDICOMファイルを更新する]をチェックしたとき、大量のファイルがある場合はファイル更新に時間がかかる場合があります。

5. 修正内容を確認し、[OK]をクリックします。

修正した内容が検査画像に反映されます。


サムネイル画像の変更

メインウィンドウで表示されるシリーズのサムネイル画像を、任意のシリーズ内画像に変更する手順です。

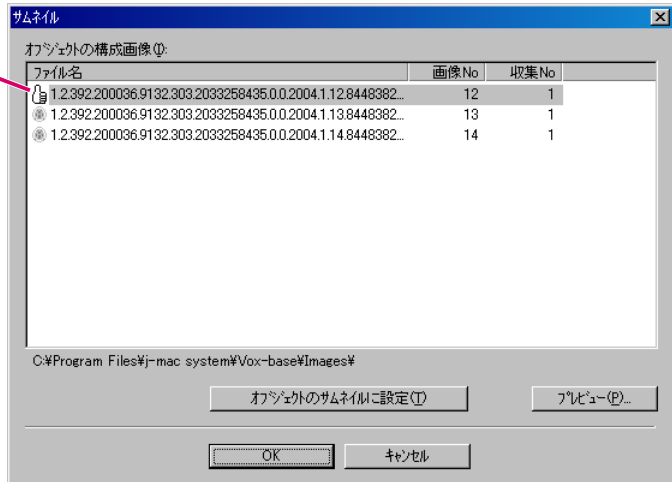
- 手順** 1. メインウィンドウの検査画像一覧が、シリーズ単位で表示されていない場合は、シリーズ単位表示に切り替えます。
詳細な手順は、「[一覧表示を切り替える](#)」を参照してください。



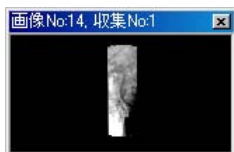
検査画像一覧がシリーズ単位で表示されていないと、サムネイル画像は変更できません。

2. サムネイル画像を変更するシリーズを1つ、クリックして選択します。
3. [ファイル]メニュー → [検査属性]をクリックします。
[検査属性]ダイアログボックスが表示されます。
4. [サムネイル]をクリックします。
[サムネイル]ダイアログボックスが表示されます。[オブジェクトの構成画像]リストに、選択したシリーズに含まれる画像ファイルが表示されます。シリーズのサムネイル画像になっているファイル名の左に、のマークが表示されます。

シリーズのサムネイル画像になっているファイルのマークです。



5. [オブジェクトの構成画像]リストから、新たにサムネイル画像にするファイルをクリックします。選択したファイルのサムネイル画像を確認するには、[プレビュー]をクリックします。
選択したファイルのサムネイル画像が以下のように表示されます。



6. [オブジェクトのサムネイルに設定]をクリックします。

新たにシリーズのサムネイル画像になったファイル名の左に、のマークが表示されます。

7. [OK]をクリックします。

サムネイル画像の変更を中止するには、[キャンセル]をクリックします。

画像を VOX-BASE/VIEW で表示する

MANAGER で表示されている検査画像を、VIEW を起動して閲覧できます。

MANAGER から VIEW を起動して検査画像を表示させるには、以下の2種類の方法があります。

- メニューバーから VIEW を起動して、画像を表示させる
- MANAGER で表示されている検査画像をダブルクリックして、VIEW を起動し表示させる

また、あらかじめ VIEW が起動しているときは、MANAGER で表示されている検査画像を、VIEW のメインウィンドウへドラッグアンドドロップして表示させることもできます。

ここでは、以上の3種類の手順について説明します。

メニューバーから VIEW で表示する

手順 1. メインウィンドウで表示されている検査画像の中から、VIEW で表示する検査画像をクリックして選択します。

複数の検査画像を選択することもできます。複数の画像を選択するときは、[「複数の検査画像をVIEWで表示する」](#)をご覧ください。

2. [画像]メニュー → [ビューアに表示]をクリックします。

VIEW が起動し、選択した検査画像が表示されます。

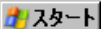
検査画像をダブルクリックして VIEW で表示する

手順 メインウィンドウで表示されている検査画像の中から、VIEW で表示する検査画像をダブルクリックします。

VIEW が起動し、選択した検査画像が表示されます。

検査画像をドラッグアンドドロップして VIEW で表示する

手順 1. VIEW を起動するには、次のいずれかを実行します。

- [プログラム]メニュー → [ビューア]をクリックします。
-  スタート → [プログラム] → [VOX-BASE II] → [VIEW 2.6]をクリックします。

2. メインウィンドウで表示されている検査画像の中から、VIEWで表示する検査画像をドラッグし、[VOX-BASE/VIEW]ウィンドウ上にドロップします。
選択した検査画像がVIEWで表示されます。

複数の検査画像をVIEWで表示する

複数の検査画像を一度にVIEWで表示させ、検査を切り替えて閲覧できます。

- 手順**
1. メインウィンドウで表示されている検査画像の中から、VIEWで表示する複数の検査画像を選択します。連続する検査画像を選択するには、[Shift]キーを押しながら検査画像をクリックします。並んでいない複数の検査画像を選択するには、[Ctrl]キーを押しながら各検査画像をクリックします。
 2. [画像]メニュー → [ビューアに表示]をクリックします。
VIEWが起動し、選択した検査画像が表示されます。
検査の切り替え手順については、『VOX-BASE/VIEW User's Guide』をご覧ください。



大量の検査画像を一度にVIEWで表示すると

システムメモリ消費量が増大し、お使いのコンピュータのパフォーマンス低下を招く恐れがあります。

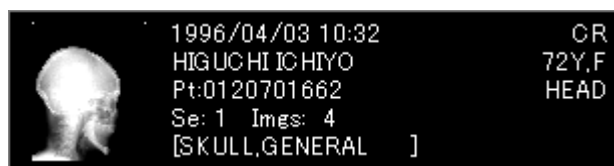


検査画像の文字の違い

メインウィンドウで表示される検査画像の属性を示す文字は、VIEWで表示される前は太字フォント、VIEWで表示された後は標準フォントになります。



VIEWで表示される前の検査画像




VIEWで表示された後の検査画像

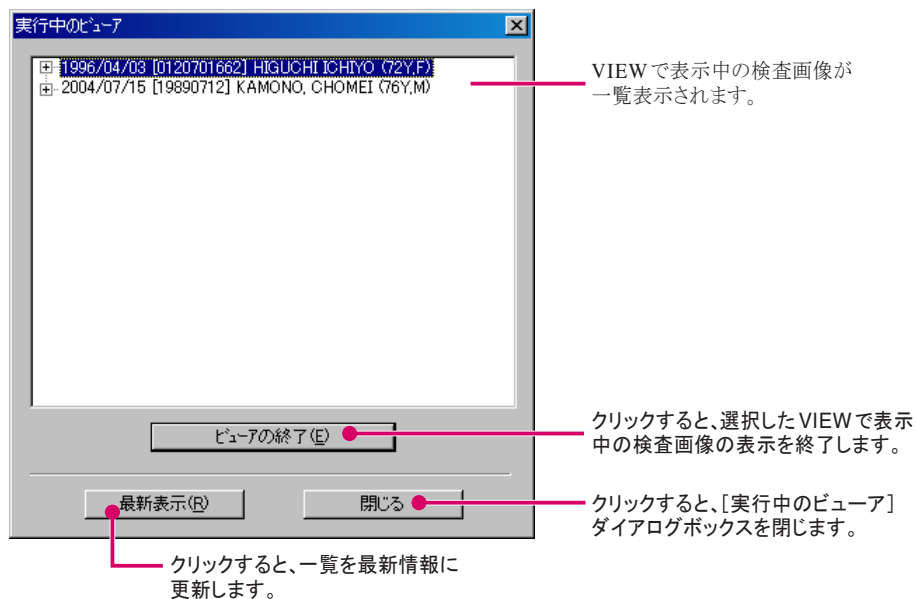
VIEWで表示中の検査画像を確認する

VIEWでどの検査画像が表示されているかを、MANAGER上で確認できます。また、表示された一覧からVIEWでの表示を終了できます。

手順 1. 次のいずれかを実行します。

-  (実行中のビューア)をクリックします。
- [プログラム]メニュー → [実行中のビューア]をクリックします。


[実行中のビューア]ダイアログボックスが表示され、VIEWで表示されている検査画像がリストで表示されます。



2. 一覧を最新の情報に更新するには、[最新表示]をクリックします。
3. [実行中ビューア]ダイアログボックスを閉じるには、[閉じる]をクリックします。

VIEWで表示中の画像を閉じる

VIEWで表示している検査画像を、[実行中のビューア]ダイアログボックスから閉じることができます。

- 手順**
1. 次のいずれかを実行します。
 -  (実行中のビューア)をクリックします。
 - [プログラム]メニュー → [実行中のビューア]をクリックします。
[実行中のビューア]ダイアログボックスが表示され、VIEWで表示されている検査画像がリストで表示されます。
 2. VIEWでの表示を終了する検査画像をクリックして選択します。
 3. [ビューアの終了]をクリックします。
選択した検査画像の表示されている[VOX-BASE/VIEW]ウィンドウが閉じられます。

検査画像のコピー

選択した検査画像を検査単位、またはシリーズ単位で、任意のフォルダにコピーできます。検査画像を光磁気ディスク(MO)やCD-Rなどのリムーバブルメディアに保存する場合の操作方法は、[「第4章 保管」](#)をご覧ください。

- 手順**
1. 検査単位で画像をコピーするには、検査画像をメインウィンドウで検査単位で表示します。シリーズ単位で画像をコピーするには、検査画像をシリーズ単位で表示します。
検査画像の検査単位/シリーズ単位の表示手順については、[「検査画像の表示」](#)をご覧ください。
 2. 表示されている検査画像から、コピーする検査画像をクリックして選択します。
 3. [画像]メニュー → [フォルダへコピー]をクリックします。
[フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
 4. コピー先のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。
選択した検査画像が、指定したフォルダにコピーされます。

検査画像の削除

選択した検査画像、またはシリーズ画像をリストから削除します。

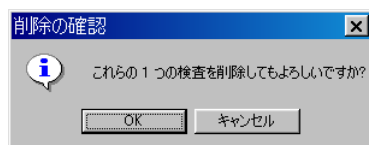
- 手順** 1. 検査単位で画像を削除するには、検査画像をメインウィンドウで検査単位で表示します。シリーズ単位で画像を削除するには、検査画像をシリーズ単位で表示します。

検査画像の検査単位 / シリーズ単位の表示手順については、「[検査画像の表示](#)」をご覧ください。

2. 表示されている検査画像から、削除する検査画像をクリックして選択します。
3. 次のいずれかを実行します。

-  をクリックします。
- [画像]メニュー → [フォルダから削除]をクリックします。

[削除の確認]メッセージが表示されます。



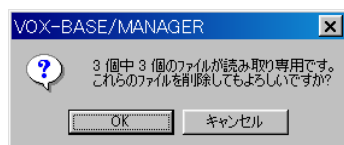
弊社医用画像ソリューション「VB STATION 保存設定」がお使いのコンピュータにインストールされている場合、[画像]メニューに[フォルダから削除]は表示されません。

4. [OK]をクリックします。

指定したフォルダから選択した検査画像、またはシリーズ画像が削除されます。

削除する検査画像の中に読み取り専用のファイルが存在する場合は、次のような確認メッセージが表示されます。削除する場合は[OK]をクリックしてください。

削除を中止するには、[キャンセル]をクリックします。



DICOM 転送

MANAGERの画面で選択した検査画像を、DICOMサーバーやリモートコンピュータへDICOM転送できます。



DICOM 転送には VOX-BASE/TRANSMIT が必要です

MANAGERから直接DICOM転送を行うには、弊社DICOM転送アプリケーション「VOX-BASE/TRANSMIT」があらかじめお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。

検査画像を DICOM 転送する

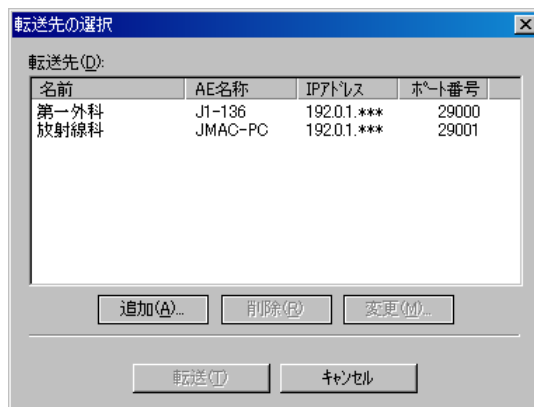
手順 1. 検査単位で画像を転送するには、検査画像をメインウィンドウで検査単位で表示します。シリーズ単位で画像を転送するには、検査画像をシリーズ単位で表示します。
検査画像の検査単位 / シリーズ単位の表示手順については、[「検査画像の表示」](#)をご覧ください。

2. 表示されている検査画像から、転送する検査画像をクリックして選択します。

3. 次のいずれかを実行します。

-  (DICOM 転送) をクリックします。
- [画像]メニュー → [DICOM 転送] をクリックします。

[転送先の選択]ダイアログボックスが表示されます。



4. 転送先のコンピュータを [転送先] リストから選択[※]します。

※ 転送先が登録されていないときは、リストに何も表示されません。転送先の登録・変更・削除の操作手順については、それぞれ[「転送先を登録する」](#)、[「転送先の登録を修正する」](#)、[「転送先の登録を削除する」](#)をご覧ください。

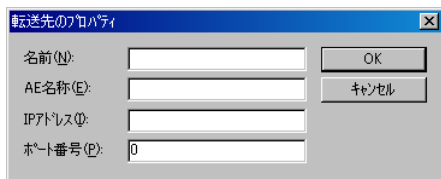
5. [転送] をクリックします。

選択した検査画像が、指定した転送先へ送信されます。

転送先を登録する

転送先を追加登録する手順です。

- 手順** 1. [転送先の選択]ダイアログボックスで、[追加]をクリックします。
[転送先のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



2. 登録する転送先の各設定内容を入力し、[OK]をクリックします。

◆ **名前**

転送先のリモートコンピュータの名前を入力します。ユーザーにとってわかりやすい任意の名前(たとえば「外科サーバー」、「放射線科」など)を入力します。半角英数、漢字、ひらがな、カタカナが入力できます。ここで入力する名前はユーザーの便宜上のもので、DICOM 通信には影響しません。

◆ **AE 名称**

転送先の AE (Application Entity) 名称を入力します。

◆ **IP アドレス**

転送先の IP アドレスを入力します。

◆ **ポート番号**

転送先のポート番号を入力します。

3. [OK]をクリックします。

[転送先のプロパティ]ダイアログボックスが閉じられ、転送先が[転送先]リストに追加されます。

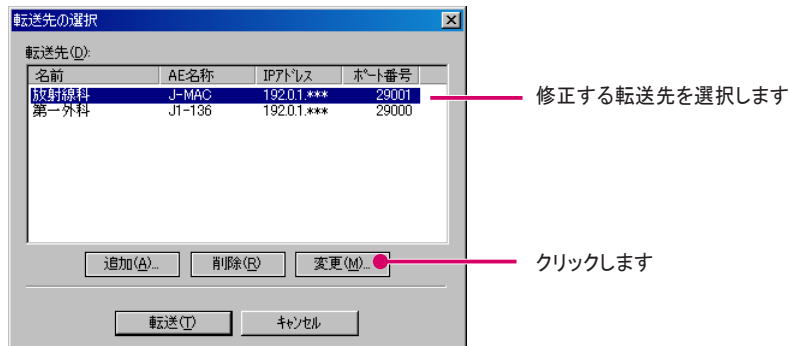
転送先の登録を修正する

登録済みの転送先の設定を修正します。

手順 1. 次のいずれかを実行します。

-  (DICOM 転送)をクリックします。
- [画像]メニュー → [DICOM 転送]をクリックします。

[転送先の選択]ダイアログボックスが表示されます。



2. [転送先]リストから、設定内容を修正する転送先を選択し、[変更]をクリックします。

[転送先のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



3. 転送先の設定内容を修正します。


4. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

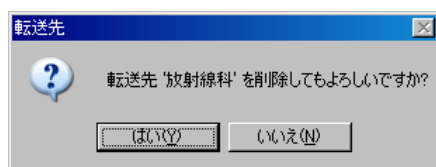
[転送先のプロパティ]ダイアログボックスが閉じられ、修正が[転送先]リストに反映されます。

転送先の登録を削除する

登録済みの転送先を[転送先]リストから削除します。

手順

- 次のいずれかを実行します。
 -  (DICOM 転送)をクリックします。
 - [画像]メニュー → [DICOM 転送]をクリックします。
[転送先の選択]ダイアログボックスが表示されます。
- [転送先]リストから、登録を削除する転送先を選択し、[削除]をクリックします。
削除の確認メッセージが表示されます。



- 削除する転送先を確認し、[はい]をクリックします。
選択した転送先の登録が[転送先]リストから削除されます。

検査画像一覧の更新


MANAGERは、メインウィンドウで表示している検査画像のデータベースを、随時最新の状態に更新する機能を備えています。

ただし、検査画像データベースの更新は、バックグラウンドで自動的に行われるため、頻繁にこの機能を実行する必要はありません。

更新する機能は、次のような場合に使用すると役立ちます。

- ネットワークドライブに保管している画像の検査リストを閲覧する場合
- [オプション]ダイアログボックスの[全般]タブの[\[起動時にファイルの差分をチェックする\]](#)がチェックされていない状態で、MANAGERが起動する前に画像ファイルの追加や削除が行われた場合

手順

- 次のいずれかを実行します。
 -  (最新の情報に更新)をクリックします。
 - [表示]メニュー → [最新の情報に更新]をクリックします。
表示が最新の情報に更新されます。

リビルド

MANAGERでは、表示中のDICOMフォルダ(=アクティブDICOMフォルダ)に保存されているファイル情報は、データベースファイルとして保存されます。このデータベースファイルを再度作り直す作業が「リビルド」、つまりデータベースの再構築のことです。

アクティブDICOMフォルダ内のDICOMファイルの構成が大きく変化した場合や、データベースファイルが破損した場合などに、リビルドでアクティブDICOMフォルダのデータベースを再構築します。



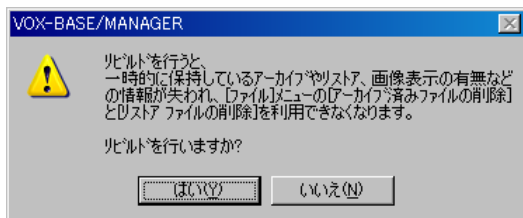
リビルドの際の注意点

リビルドすると、アーカイブやリストア、画像表示パラメータなどの一時的に保持した情報が失われます。



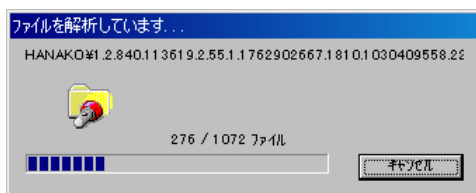
1. [ファイル]メニュー → [リビルド]をクリックします。

以下の確認メッセージが表示されます。



2. [はい]をクリックします。

リビルドが開始され、進捗状況が以下のように表示されます。



第4章 保管

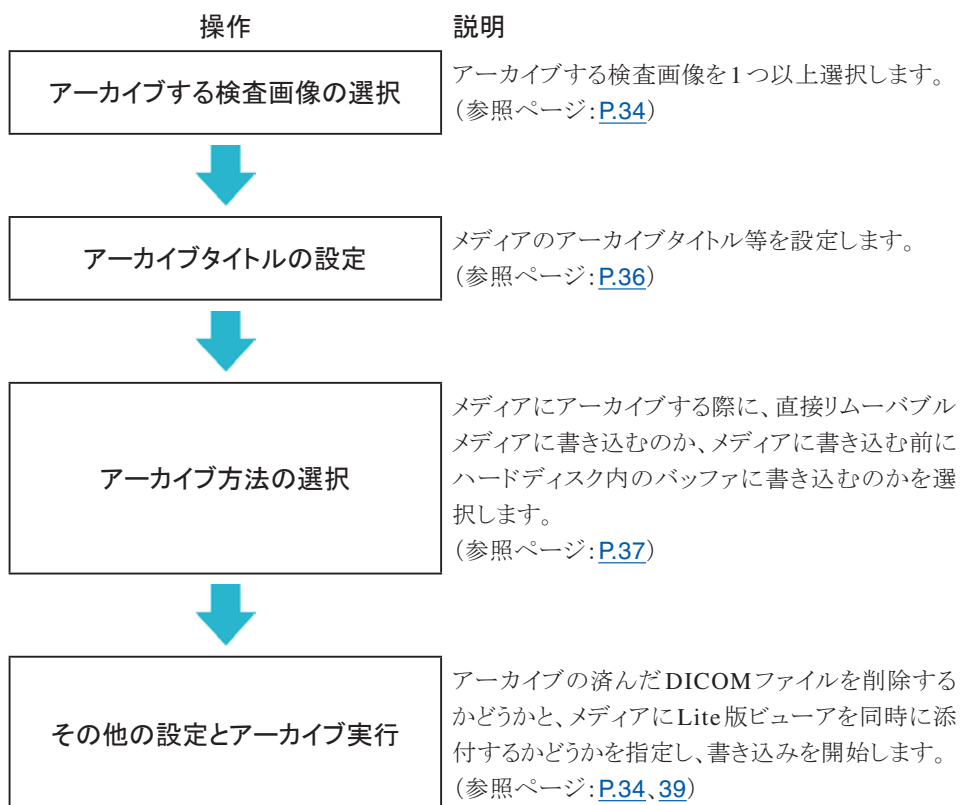
アーカイブ

「アーカイブ」とは、アクティブ DICOM フォルダ内にある検査画像を、DVD-R や CD-R などの大容量リムーバブルメディアへ保管することを指します。

アクティブ DICOM フォルダ内の選択された検査画像をメディア、またはバッファ（ハードディスク内の一時保存用フォルダ）にアーカイブ・ディスクイメージ形式で書き込みます。

アーカイブの操作の流れ

以下のフローチャートは、MANAGER で選択した検査画像をアーカイブするまでの操作の流れを示します。それぞれの操作方法については参照ページをご覧ください。



検査画像をアーカイブする

- 手順** 1. アーカイブする検査画像が含まれるDICOMフォルダを、MANAGERで表示します。このとき、リムーバブルメディア内のフォルダ構成を、検査単位にする場合は、検査画像をメインウィンドウで検査単位で表示します。フォルダ構成をシリーズ単位にする場合は、検査画像をシリーズ単位で表示します。

検査画像の検査単位/シリーズ単位の表示手順については、「第3章 検査画像の表示・閲覧」の「[検査画像の表示](#)」をご覧ください。

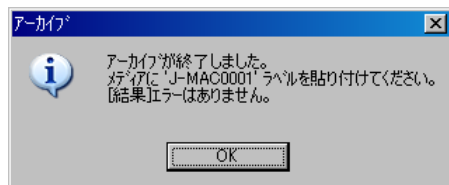
2. 表示されている検査画像から、アーカイブする画像を、1つ以上選択します。
3. リムーバブルメディアに書き込む場合は、フォーマット済みのメディアをドライブに挿入します。
バッファに書き込む場合は、手順4.に進みます。





リムーバブルメディアは正規パッケージ品をご使用ください

リムーバブルメディアは、正規のパッケージに入って販売されているリテール品をご使用ください。バルク品（正規パッケージに入っていない、小売向けではない製品）は、記録品質が劣る場合があります。

4. [ファイル]メニュー → [アーカイブ]をクリックします。
[アーカイブ]ダイアログボックスが表示されます。
5. 各項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「[\[アーカイブ\]ダイアログボックスの設定](#)」をご覧ください。
6. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします※。
設定が有効になり、設定した条件でアーカイブが開始されます。アーカイブ中は、メインウィンドウの最下部にあるステータスバーに、アーカイブの進行状況を示すプログレスバーが表示されます。
※ 万一、アーカイブを開始する際にエラーメッセージが表示される場合は、次の「[アーカイブの際のエラーメッセージ](#)」をご覧ください。
7. アーカイブが終了すると、[アーカイブ]メッセージが表示されます。メッセージで表示されているボリュームラベル名を紙ラベルに記入してから、[OK]をクリックします。



[アーカイブ]メッセージが閉じられ、メインウィンドウに戻ります。
メディアを取り出してから、ボリュームラベル名を記入した紙ラベルを貼ります。
[アーカイブ]ダイアログボックスの設定で、アーカイブ終了後、DICOMファイルを削除しない設定にしている場合は、「アーカイブ済みの検査画像のサムネイル左下に 、または  がつきます。詳しくは「[アーカイブ済みアイコン](#)」をご覧ください。



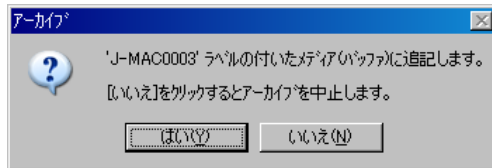
アーカイブの際のエラーメッセージ

アーカイブ・ディスクイメージのディスク使用領域を見積った際に、リムーバブルメディアの空き領域が不足している場合は、次のメッセージが表示されます。



この場合は、[OK]をクリックしてメッセージを閉じた後に、選択した検査画像を2枚のリムーバブルメディアに分けて書き込むなどして、ディスク使用領域が空きディスク領域内に収まるようにしてください。

また、選択した検査画像がすでに、メディア、またはアーカイブ・ディスクイメージにアーカイブされている場合、次の確認メッセージが表示されます。



同じメディアに追記してもよい時は、[はい]をクリックしてメッセージを閉じます。

[アーカイブ]ダイアログボックスの設定

[アーカイブ]ダイアログボックスでは、次の項目を設定します。

ボリュームラベル等を設定します。

アーカイブ先を設定します。

アーカイブ後のファイルを削除するかどうかを指定します。

メディアに Lite 版ビューアも入れるかどうかを指定します。

アーカイブできる検査画像が表示されています。

アーカイブ	検査日	患者名	患者ID	モダリティ	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	2002/08/27	J-MAC HANAK.	0120701662	CT	751.0MB
<input checked="" type="checkbox"/>	2002/06/26	J-MAC TARO	93101	MR	1.4MB
<input checked="" type="checkbox"/>	1996/04/03	HIGUCHI ICHIYO	0120701662	CR	0.6MB
<input checked="" type="checkbox"/>	1996/04/02	YOSHIDA, KEN.	7266262	CR	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/>	1996/04/02	YOSHIDA, KEN.	0120701882	CR	0.5MB

◆ アーカイブタイトル

アーカイブタイトルは、新規に設定する場合と、過去に作成したアーカイブタイトルを利用する場合で設定手順が異なります。

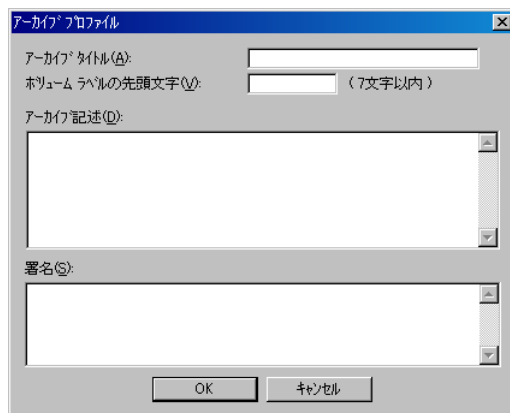
新規にアーカイブタイトルを設定する場合

アーカイブタイトル、およびボリュームラベルを新規に設定するには、[新規作成]をクリックします。

手順

1. [新規作成]をクリックします。

[アーカイブプロファイル]ダイアログボックスが表示されます。



2. 各項目を入力します。

◆ アーカイブタイトル

アーカイブタイトルを入力します。

◆ ボリュームラベルの先頭文字

ボリュームラベルの先頭文字を、半角英数7文字以内で入力します。

◆ アーカイブ記述

記録に関する注意事項など、メディアに関する記述を入力します。

◆ 署名

所有者がわかるように、施設名、部署、管理責任者などを入力します。ここで入力した内容は、リムーバブルメディアのルートディレクトリに作成されるREADME.TXTファイルに書き込まれます。

3. 入力内容を確認し、[OK]をクリックします。

[アーカイブ]ダイアログボックスに戻ります。

過去に作成したアーカイブタイトルを利用する場合

過去に作成したアーカイブタイトル、ボリュームラベルの履歴を選択して使用することもできます。その場合は、[アーカイブ記述]と[署名]のみ、記述を変更して使用できます。

手順

1. [アーカイブタイトル]欄右の[▼]をクリックします。
過去に入力したアーカイブタイトルが一覧表示されます。
2. 使用するアーカイブタイトルをクリックして、選択します。
3. [変更]をクリックします。
[アーカイブ記述]欄と[署名]欄のみが入力できる[アーカイブプロファイル]ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要に応じて、[アーカイブ記述]欄と[署名]欄を修正します。
過去に作成したアーカイブタイトルを利用する場合、アーカイブタイトルとボリュームラベルの先頭文字は修正できません。
5. 入力内容を確認し、[OK]をクリックします。
[アーカイブ]ダイアログボックスに戻ります。

◆ ターゲット

[ターゲット]欄では、アーカイブする際直接メディアに書き込むか、メディアに書き込む前にバッファに書き込むかを選択します。さらにアーカイブ先となるメディアの設定をします。

リムーバブルメディアに直接書き込む場合

ハードディスク内のバッファにアーカイブ・ディスクイメージを書き込まずに、直接メディアに書き込む場合の操作手順です。



書き込み可能なCD/DVDについて

MANAGERによるアーカイブは、パケットライト方式によるディスク書き込みに対応しています。アーカイブする前に、他社製ライティングソフトでディスクをフォーマットする必要があります。

なお、ディスクアットワンス(Disc-at-once)方式の書き込みには対応していません。



リムーバブルメディアに直接書き込む場合の推奨メディアは、DVD-RAM、またはMOです。

手順

1. [直接、メディアへ書き込み]をチェックします。
2. [ドライブ]欄右の[▼]をクリックし、検査画像を書き込むメディアを挿入したドライブを選択します。

バッファに書き込む場合

メディアに書き込む前に、ハードディスク内のバッファにアーカイブ・ディスクイメージを書き込む場合の操作手順です。

手順

1. [バッファへ書き込み]をチェックします。
2. [メディア タイプ]欄右の[▼]をクリックし、バッファに書き込んだアーカイブ・ディスクイメージをコピー（移動）する、アーカイブ先メディアの種類を選択します。
使用するメディアに合ったメディアタイプが表示されない場合は、次のヒント「使用するメディアに合ったメディアタイプが表示されない場合」をご覧ください。
3. [場所]欄にアーカイブ・ディスクイメージを書き込むバッファフォルダの場所を入力します。フォルダを選択するには、[...]をクリックします。[フォルダの参照]ダイアログボックス上でフォルダを選択し、[OK]をクリックします。
選択したフォルダのパスが入力されます。

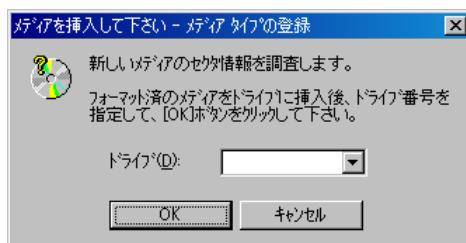


使用するメディアに合ったメディアタイプが表示されない場合

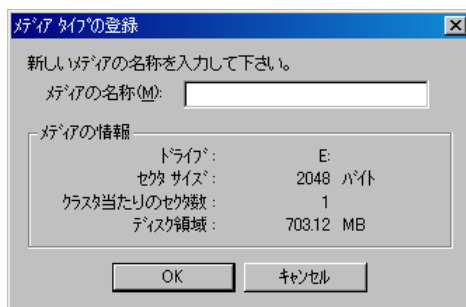
バッファに書き込む場合、使用するメディアに対応するメディアタイプが表示されないときは、以下の手順でメディアタイプを新規登録します。

手順

1. [メディアタイプ]欄右の[▼]をクリックし、[* 新規メディア]を選択します。
[メディアを挿入してください - メディアタイプの登録]ダイアログボックスが表示されます。



2. フォーマット済みのリムーバブルメディアをドライブに挿入します。[ドライブ]欄右の[▼]をクリックして、メディアを挿入したドライブを選択し、[OK]をクリックします。
[メディアタイプの登録]ダイアログボックスが表示されます。



3. [メディアの名称]欄に、任意のメディアタイプ名称を入力し、[OK]をクリックします。
[アーカイブ]ダイアログボックスに戻ります。[メディアタイプ]欄に新規登録したメディアタイプ名称が入力されています。

◆ **アーカイブ終了後、DICOMファイルを削除**

検査画像のアーカイブ終了後に、アクティブDICOMフォルダから検査画像を削除するかどうかを指定します。削除する場合は、この項目をチェックします。



アーカイブ済みアイコン

[アーカイブ終了後、DICOMファイルを削除]をチェックせずに、アーカイブ済みのDICOMファイルを残す設定にしている場合、メインウィンドウで表示されているアーカイブ済みの検査画像には、アーカイブ済みということを示すアイコンが付きま



全シリーズアーカイブ済み



一部シリーズアーカイブ済み



リムーバブルメディアに
保管された画像

また、アーカイブ中の検査画像は、次のように表示されます。



なお、[×]が表示されている間は、[画像]メニューのコマンドは選択できません。

◆ **Lite版DICOMビューアを含める**

検査画像のアーカイブ時に、Lite版ビューアも書き込む場合は、この項目をチェックします。リムーバブルメディアにLite版ビューアを添付すると、ビューアがインストールされていないコンピュータでもLite版ビューアを起動してメディア内の検査画像を参照できます。

◆ 選択した検査画像

[選択した検査画像]リストには、選択した検査画像が一覧表示されています。アーカイブする検査画像を確認します。アーカイブしないものは、[アーカイブ]欄のチェックを外します。

なお、すでにアーカイブ済みの検査画像は、[アーカイブ]欄のチェックボックス右に[済]と表示されます。

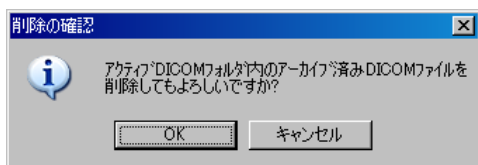
アーカイブ	検査日	患者名	患者ID	モダリティ	サイズ
<input checked="" type="checkbox"/> 済	2002/08/27	J-MAC HANAK...	0120701662	CT/1..	524.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				CT/5..	0.5MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				CT/5..	2.5MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済	1992/10/26	J-MAC TARO	93101	MR/1	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				MR/1	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				MR/1	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				MR/1	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				MR/1	0.1MB
<input checked="" type="checkbox"/> 済				MR/1	0.1MB

アーカイブ済みファイルの削除

アクティブ DICOM フォルダ内のアーカイブ済み検査画像をまとめて削除できます。一部の検査画像を削除するには、「第3章 検査画像の表示・閲覧」の「[検査画像の削除](#)」をご覧ください。

手順 1. [ファイル]メニュー → [アーカイブ済みファイルの削除]をクリックします。

[削除の確認]メッセージが表示されます。




2. [OK]をクリックします。

アクティブ DICOM フォルダ内のアーカイブ済みの検査画像がすべて削除されます。

アーカイブ済みメディアの参照

アーカイブ済みメディアをアクティブ DICOM フォルダにして、リムーバブルメディア内のアーカイブ済み検査画像、またはバッファ内のアーカイブイメージの一覧をメインウィンドウに表示させます。



1. リムーバブルメディアを参照する場合は、メディアをドライブに挿入します。
2. 次のいずれかを実行します。
 -  (アクティブ DICOM フォルダの設定) をクリック → [アーカイブメディア] をポイントします。
 - [ファイル]メニュー → [アクティブ DICOM フォルダの設定] → [アーカイブメディア] をポイントします
3. リムーバブルメディアを参照する場合は、メディアが入っているドライブをクリックします。ハードディスク内のバッファを参照する場合は、任意のバッファフォルダ、または [バッファの場所] をクリックします。[バッファの場所] をクリックした場合は、[フォルダの参照] ダイアログボックス上でバッファフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

任意のメディアの検査画像、またはバッファ内のアーカイブイメージが、メインウィンドウで一覧表示されます。



アーカイブメディア選択時に選択できないコマンド

[ファイル]メニュー → [アクティブ DICOM フォルダの設定] → [アーカイブメディア] を選択した場合、以下のコマンドは使用できません。

- [ファイル]メニュー → [リビルド] / [アーカイブ] / [アーカイブ済みファイルの削除] / [リストア] / [リストアファイルの削除]
- [表示]メニュー → [最新の情報に更新]
- [画像]メニュー → [フォルダからの削除]

オフライン画像の検索

オフライン画像とは、ローカルコンピュータ内のDICOMフォルダには存在しないアーカイブ済みメディアの検査画像を指します。

ここでは、アーカイブ済みオフライン画像の検索手順を説明します。

手順 1. [検査条件]欄の[アーカイブ]をチェックします。



①チェックします。

②クリックします。

2. [アーカイブ]欄右の[▼]をクリックし、オフライン検査画像情報を記録したデータベースの名前(アーカイブタイトル)を選択します。必要に応じて、他の検索条件を指定します。

他の検索条件の指定方法については、「第3章 検査画像の表示・閲覧」の[「検査画像の検索」](#)をご覧ください。

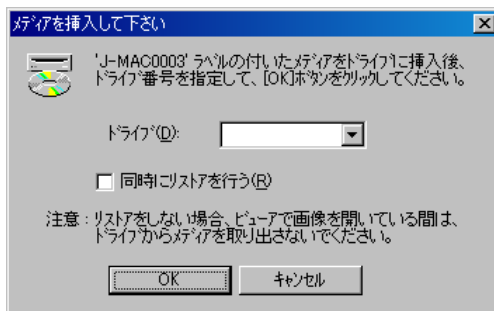
3. [検索]をクリックします。

アクティブDICOMフォルダとオフライン画像の中から、検索条件と一致した検査画像がメインウィンドウに表示されます。

オフライン画像の表示

メインウィンドウ上で選択したアーカイブ済みメディアの画像(=オフライン画像)を、MANAGER 上での一続きの操作で、VIEWのメインウィンドウに表示できます。

- 手順**
1. 「[アーカイブ済みメディアの参照](#)」、および「[オフライン画像の検索](#)」を参照し、VIEWで表示する検査画像をメインウィンドウに表示させます。
 2. 表示された検査画像から、VIEWで表示する検査画像を選択します。
 3. 次のいずれかを実行します。
 - 検査画像をダブルクリックします。
 - [画像]メニュー → [ビューアに表示]をクリックします。
[メディアを挿入して下さい]ダイアログボックスが表示されます。



4. ダイアログボックスで指示されているラベルが付いたリムーバブルメディアを、ドライブに挿入します。
5. [ドライブ]欄右の[▼]をクリックし、メディアを挿入したドライブを指定します。
6. 同時にリストア※する場合は、[同時にリストアを行う]をチェックします。
※ 「リストア」とはオフライン画像を、アクティブ DICOM フォルダに再度コピーすることを指します。
リストアの操作手順については、次の「[リストア](#)」をご覧ください。
7. [OK]をクリックします。
VIEW が起動し、選択したオフライン画像が表示されます。



表示中は、リムーバブルメディアをドライブから取り出さないでください。

VIEW でオフライン画像を表示している間にリムーバブルメディアを取り出すと、画像を表示できなくなります。

リストア

「リストア」とは、オフライン画像をアクティブDICOMフォルダに再度コピーすることを指します。ここではリストアの操作手順を説明します。

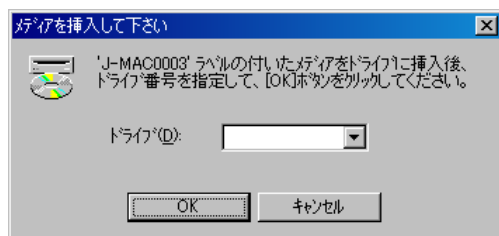
- 手順** 1. オフライン画像のコピー先フォルダをアクティブDICOMフォルダにします。
アクティブDICOMフォルダの選択方法は、「[表示するDICOM画像フォルダの選択](#)」をご覧ください。



オフライン画像を表示するには

メインウィンドウの[検査条件]欄の[アーカイブ]をチェックします。[アーカイブ]がチェックされていないと、オフラインの検査画像は表示されません。

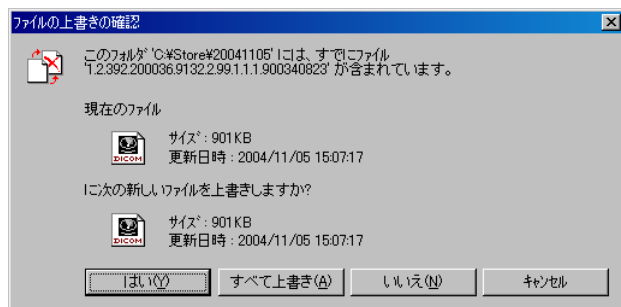
2. メインウィンドウに表示されたオフライン画像の中から、リストアする検査画像を選択します。
3. [ファイル]メニュー → [リストア]をクリックします。
[メディアを挿入して下さい]ダイアログボックスが表示されます。



4. ダイアログボックスで指示されているラベルがついたリムーバブルメディアを、ドライブに挿入します。
5. [ドライブ]欄右の[▼]をクリックし、メディアを挿入したドライブを指定します。
6. [OK]をクリックします。
リムーバブルメディアからアクティブDICOMフォルダへ、検査画像のコピーが開始されます。リストアする検査画像が複数のリムーバブルメディア内にある場合は、手順3～6を繰り返します。

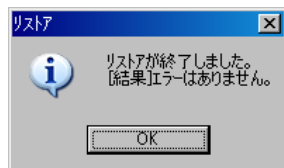


リストアする検査画像が、すでにアクティブDICOMフォルダにあるときは
リストアしようとしている検査画像のDICOMファイルと同名のファイルが、すでにアクティブ
DICOMフォルダに存在しているときは、以下のメッセージが表示されます。



ファイルを上書きするときは、[はい]をクリックします。同名のファイルをすべて上書きするときは、[すべて上書き]をクリックします。上書きしないときは[いいえ]をクリックします。リストアを中止するときは、[キャンセル]をクリックします。

7. リストア終了後に、次の確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



リストアされた検査画像が、メインウィンドウに表示されます。リストアされた検査画像の属性は斜体で表示されます。

リストアファイルの削除

アクティブDICOMフォルダにリストアした検査画像をまとめて削除することができます。リストア済みの検査オブジェクトはすべて斜体で表示されます。リストアファイルを削除すると、これらの検査画像がすべて削除されます。

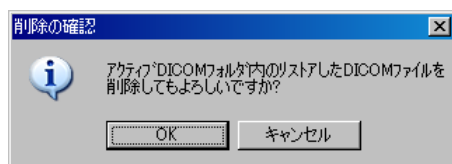
手順

1. 削除するリストアファイルが入っているフォルダを、アクティブDICOMフォルダにします。

アクティブDICOMフォルダの選択方法は、「第3章 VOX-BASE/MANAGERの操作」の「[表示するDICOM画像フォルダの選択](#)」をご覧ください。

2. [ファイル]メニュー → [リストアファイルの削除]をクリックします。

[削除の確認]メッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。

リストアファイルが削除されます。



一部のリストア済み検査画像を削除するには

すべてのリストアした検査画像ではなく、一部のリストア済み検査画像を削除するには、「[検査画像の削除](#)」を実行します。

Archiveフォルダのバックアップ

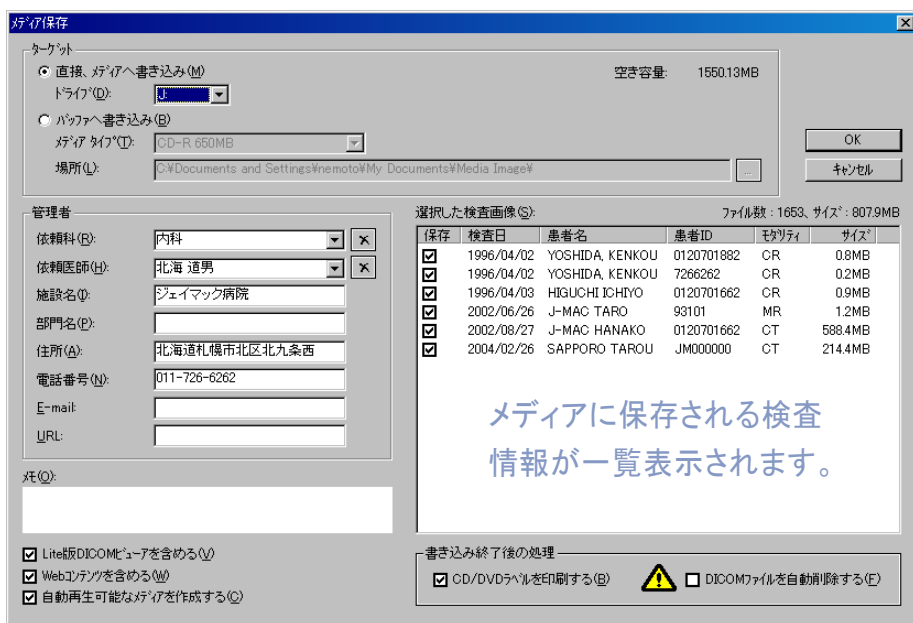
VOX-BASEフォルダ直下にあるArchiveフォルダ^{**}内にはアーカイブメディアの重要な情報が保管されています。同フォルダ内の情報が破損したり、損失したりするとオフライン画像が検索できなくなります。Archiveフォルダ内の全フォルダおよび全ファイルは、リムーバブルメディアにコピーするなどして、必ず定期的にバックアップしてください。

※ VOX-BASEインストール時にフォルダの場所を初期設定のままにしている場合の同フォルダの場所は、C:\Program Files¥j-mac system¥Vox-base¥Archiveです。

DICOM規格メディアの作成

検査画像を、検査単位、またはシリーズ単位で選択して、DICOM規格メディア、あるいはディスクイメージを作成できます。

- 手順**
1. リムーバブルメディアに直接書き込む場合は、フォーマット済みのブランクメディア、または空き領域のあるメディアをドライブに挿入します。
 2. 保存する検査情報を1つ、または複数選択します。
 3. [画像]メニュー → [メディア保存]をクリックします。
[メディア保存]ダイアログボックスが表示されます。



4. メディアの保存設定をします。

◆ ターゲット

メディア、またはバッファのどちらかに検査情報を書き込むか、選択します。

選択肢	説明
直接、メディアへ書き込み ^{**} (ヒント参照)	検査情報をバッファに一時的に書き込まずに、リムーバブルメディアに直接書き込む場合に選択します。選択後、リムーバブルメディアの入ったドライブを[ドライブ]欄で指定します。
バッファへ書き込み	検査情報をバッファに書き込む場合に選択します。 [メディアタイプ]で、バッファに書き込んだディスクイメージを、リムーバブルメディアへコピー(移動)する際のメディアタイプを指定します。 [場所]欄で、検査情報を書き込むフォルダを指定します。フォルダを変更するには、[...]をクリックし、[フォルダの参照]ダイアログボックス上でフォルダを選択します。[OK]をクリックすると、選択したフォルダのパスが入力されます。



直接メディアへ書き込む際の注意点

- ドライブの書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。
- 書き込みに失敗する場合、書き込み速度を落として再度、お試しください。



直接メディアへ書き込む際の、CD/DVDについて

メディア作成機能は、パケットライト方式とディスクアットワンス(Disc-at-once)方式の書き込みに対応しています。どちらの方式が適用されるかは、使用するメディアがフォーマット済みかそうでないかによって決定されます。

- フォーマット済みメディアを使用 →パケットライト方式
- フォーマットしていない、ブランクメディアを使用 →ディスクアットワンス方式

データの追加記録は、パケットライト方式でのみできます。

ディスクアットワンス方式が適用された場合は、書き込み速度を選択するダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの詳細は、手順5をご覧ください。

なお、ディスクアットワンス方式で書き込む場合の推奨メディアは、CD-R (650/700MB)とDVD-R (4.7GB)です。2層記録DVDには対応していません。

リムーバブルメディアは正規パッケージ品をご使用ください

リムーバブルメディアは、正規のパッケージに入って販売されているリテール品をご使用ください。バルク品(正規パッケージに入っていない、小売向けではない製品)は、記録品質が劣る場合があります。

◆ 管理者

必要に応じて、依頼科、依頼医師、病院名など管理者の情報を入力します。この欄に入力した内容は、メディアのルートディレクトリに作成されるREADME.TXTファイルの[施設情報]欄、および[問い合わせ先]欄に書き込まれます。

◆ メモ

この欄に入力した内容は、メディアのルートディレクトリに作成されるREADME.TXTファイルの[メモ]欄に書き込まれます。

◆ 選択した検査画像

選択した検査情報が一覧表示されています。メディアに保存する画像を確認します。検査画像の保存を取り消すには、[保存]欄をクリックし、チェックを外します。

◆ Lite版DICOMビューアを含める

検査情報に加え、弊社医用画像閲覧アプリケーション「VOX-BASE/VIEW Lite」(以降、VIEW Lite)をメディアに書き込むには、この項目をチェックします。この項目をチェックすると、医用画像閲覧用ビューアがインストールされていない端末上でも、メディアに保存されたDICOM画像を参照できます。

ここで書き込まれるVIEW Liteは、メディア内のDICOM画像のみを参照するものです。VIEW Liteの実行ファイルをハードディスクにコピーしても、起動しません。

◆ Webコンテンツを含める

DICOM画像のHTML出力も行うには、この項目をチェックします。HTMLファイルはWebブラウザで表示できるため、Windows以外の端末上でも、メディアに保存された8ビットJPEG形式に変換した画像を参照できます。

この項目をチェックすると、メディアのルートディレクトリにINDEX.HTMファイルが作成されます。作成されるINDEX.HTMの概要は、次ページのヒントをご覧ください。

◆ 自動再生可能なメディアを作成する

ここで作成したメディアをドライブに挿入したとき、書き込んだ内容を自動再生するかどうかを指定します。[Lite版DICOMビューアを含める]、および[Webコンテンツを含める]の設定の組み合わせによって、作成したメディアを挿入したときの動作は次の表のように異なります。

Lite版DICOM ビューアを含める	○	×	○	×
Webコンテンツ を含める	○	○	×	×
作成したメディアを挿入した ときの動作	↓ Webコンテンツの自動再生	↓ Webコンテンツの自動再生	↓ Lite版DICOMビューアの起動	↓ 自動再生なし

◆ 書き込み終了後の処理

メディア、またはバッファへの書き込み終了後に、ラベル印刷を自動的に開始するには[CD/DVDラベルを印刷する]をチェックします。ただし、複数の患者のデータが対象の場合は、この項目をチェックしてもこの機能は有効になりません。

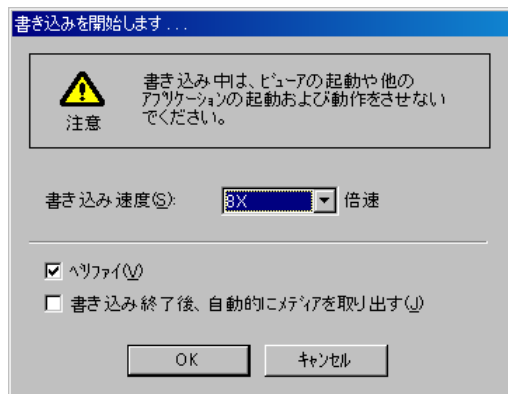
メディア、またはバッファへの書き込み終了後に、アクティブDICOMフォルダ内のDICOMファイルを自動的にすべて削除するには、[DICOMファイルを自動削除する]をチェックします。なお、[オプション]ダイアログボックスの[全般]タブの[メディア保存後のDICOMファイル自動削除を禁止する]のチェックを外さないと、この項目は有効になりません。

5. [OK]をクリックします。

メディア、またはバッファに対する書き込みが開始されます。書き込み中は、ステイタスバー上に「メディア保存中...n%」と、保存の進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。

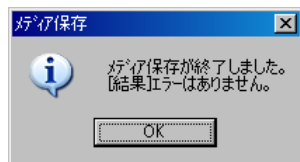
ディスクアットワンス方式で書き込む場合

[直接、メディアへ書き込み]を選択し、ブランクメディアを使用している場合は、[OK]をクリック後に[書き込みを開始します]ダイアログボックスが表示されます。



- 1) [書き込み速度]の[▼]をクリックして、任意の書き込み倍速を選択します。
- 2) 書き込み後にメディアに書き込まれたデータに誤りがないかをチェックするには、[ベリファイ]をチェックします。
- 3) 書き込み後、自動的にメディアを取り出すには、[書き込み終了後、自動的にメディアを取り出す]をチェックします。
- 4) [OK]をクリックします。

6. 書き込み終了後に、以下のメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



メディア保存中のアイコン表示

メディア保存中の検査のサムネイルの左下に[×]が表示されます。





[Webコンテンツを含める]で作成されるINDEX.HTM

メディアの保存設定で[Webコンテンツを含める]をチェックした場合、DICOM画像がWebブラウザで閲覧できるようにHTML出力されます。その際、メディアのルートフォルダに下図のようなINDEX.HTMが作成されます。このファイルに一覧表示される患者IDをクリックすると、Webブラウザで検査画像を確認できます。

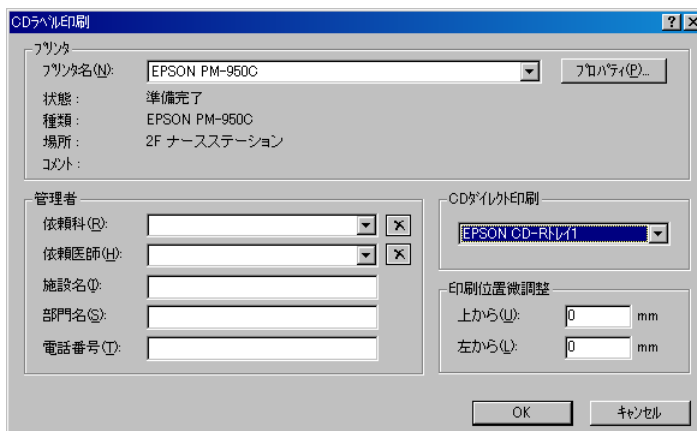


患者IDをクリックすると、その患者の検査画像を確認できます。

CDラベル印刷

患者1検査分のCD/DVDメディア用のラベルをWindowsプリンタで印刷できます。

- 手順** 1. [プログラム]メニュー → [CDラベル印刷]をクリックします。
[CDラベル印刷]ダイアログボックスが表示されます。





2. 各項目を設定します。

◆ プリンタ

[プリンタ名]の[▼]をクリックして、CDラベル印刷に使用するプリンタを選択します。詳細設定をするには、[プロパティ]をクリックします。用紙サイズ、印刷方向、用紙種類などの設定をします。

◆ 管理者

CDラベルに印刷される各項目を指定します。

項目名	説明
依頼科	検査をオーダーした部署名を入力します。入力した内容は、履歴として保存されます。入力履歴から選択するには、[依頼科] 欄右の[▼]をクリックします。 入力履歴を削除するには、  をクリックします。表示される[入力履歴の削除]ダイアログボックスで削除する入力履歴を選択し、[削除]をクリックします。[OK]をクリックし、[CDラベル印刷]ダイアログボックスに戻ります。
依頼医師	検査をオーダーした医師名を入力します。入力した内容は、履歴として保存されます。入力履歴から選択するには、[依頼医師] 欄右の[▼]をクリックします。 入力履歴を削除するには、  をクリックします。表示される[入力履歴の削除]ダイアログボックスで削除する入力履歴を選択し、[削除]をクリックします。[OK]をクリックし、[CDラベル印刷]ダイアログボックスに戻ります。
施設名	施設名を入力します。
部門名	管理者の所属部署名を入力します。
電話番号	施設の電話番号(連絡先)を入力します。

◆ CDダイレクト印刷

キヤノン社、およびエプソン社のCDダイレクト印刷に対応しているプリンタを使用して印刷する場合は、[▼]をクリックし、「Canon CD-Rトレイ」、または「EPSON CD-Rトレイ」を選択します。

◆ 印刷位置微調整

CDダイレクト印刷でずれが生じる場合、またはCDダイレクト印刷に対応していないプリンタやラベル用紙を使用して印刷する場合に、印刷開始位置の微調整をするには、[上から] 欄と[左から] 欄に印刷開始位置をミリ単位で入力します。なお、「0.1」のように小数点を入れて数値を入力すると、0.1ミリ単位の微調整ができます。

3. [OK]をクリックします。

[CDラベル印刷]ダイアログボックスが閉じられ、CDラベル印刷が開始されます。

第5章

DICOM ファイルの作成

PDFファイルやビットマップ、JPEG 画像、あるいはTWAIN 対応スキャナを使って読み取った検査依頼表やイラストなどに、患者情報や検査情報などを付加しDICOMファイルとして保存できます。作成したDICOMファイルは、新規シリーズとして検査画像に追加できます。スキャナ以外にも、TWAIN 対応デジタルカメラなど、TWAIN 対応機器であれば使用することができます。

作成されるDICOMファイルの仕様については、「付録」の「[MANAGERがサポートするDICOMファイル](#)」を参照してください。

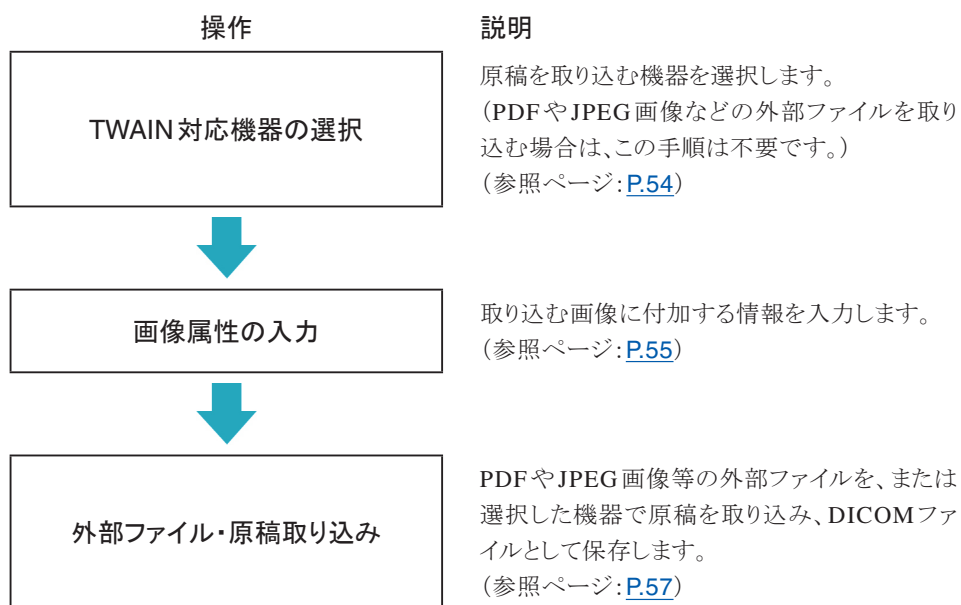


TWAIN 対応機器から取り込める画像

MANAGER を使用してTWAIN 機器から取り込める画像は、8ビットグレーと24ビットカラーのみです。モノクロ(二値化された白黒)画像は取り込めません。

原稿の取り込みの流れ

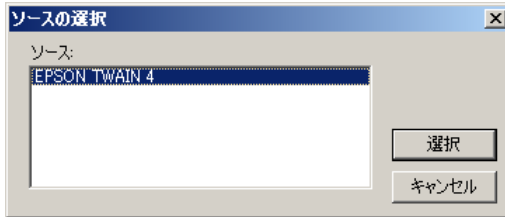
以下のフローチャートは、PDFやJPEG 画像等の外部ファイルを、あるいはTWAIN 対応機器を使って原稿を取り込み、DICOMファイルとして保存するまでの操作の流れを示します。



TWAIN 対応機器の選択

原稿を取り込む前にあらかじめ TWAIN 対応機器をリストから選択します。
PDF やビットマップ、JPEG 画像などの外部ファイルを取り込む場合、この手順は不要です。

- 手順** 1. [ファイル]メニュー → [TWAIN デバイスの選択] をクリックします。
[ソースの選択] ダイアログボックスが表示されます。
選択できる TWAIN 対応機器が [ソース] 欄に一覧表示されています。



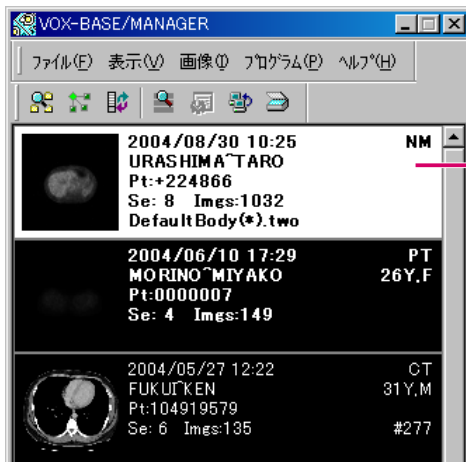
お使いのコンピュータに TWAIN 対応機器のドライバがインストールされていない場合、
[ソース] 欄には何も表示されません

2. 使用する TWAIN 対応機器を、クリックして選択します。
3. [選択] をクリックします。

原稿の取り込み


TWAIN 対応機器から取り込んで取得したイメージや、PDF、JPEG 画像などの外部ファイルに患者情報や検査情報を付加し、DICOM ファイル、または ACR-NEMA ファイル形式でアクティブ DICOM フォルダに保存します。

- 手順** 1. メインウィンドウで、原稿に関連する検査を選択します。



選択します。

2. 次のいずれかを実行します。

-  (シリーズのインポート)をクリックします。
- [ファイル]メニュー → [シリーズのインポート]をクリックします。

[追加シリーズの属性]ダイアログボックスが表示されます。

[検査 / 患者情報]欄に、選択した検査の情報が表示されています。




3. 必要に応じて、各項目に入力します。

◆ 画像タイプ

取り込む画像のファイルタイプを、[▼]をクリックして選択します。初期設定では、「検査依頼票 - 圧縮なし」、「検査依頼票 - jpeg 標準画質」、「検査依頼票 - モノクロRLE」の3つから選択できます。取り込む画像のタイプが選択肢にない場合は、[...]で開く[画像タイプ]ダイアログボックスで新規に追加します。画像タイプの追加方法については、[\[画像タイプの追加・修正・削除\]](#)を参照してください。



◆ 管理者

取り込む画像の管理者情報を、半角英数字 64 字以内 (全角 32 字以内) で入力します。各項目に入力した内容は、履歴として自動的に保存されます。入力履歴から選択するには、各欄右の[▼]をクリックします。

 をクリックすると、[入力履歴の削除] ダイアログボックスが表示され、入力履歴が削除できます。削除手順の詳細は、「[入力履歴の削除](#)」をご覧ください。

項目名	説明
実施医師名	このシリーズを管理する医師の名前を入力します。
オペレータ	このシリーズを実施した操作者の名前を入力します。
施設名	装置が設置されている施設の名称を入力します。
依頼医師名	検査を依頼した医師の名前を入力します。
依頼施設名	依頼を発行した施設の名称を入力します。
読影医師名	検査を読影する医師の名前を入力します。

◆ シリーズ属性

項目名	説明
モダリティ	画像を撮影したモダリティを半角英字 16 字以内で入力します。この項目は必ず入力してください。 入力した内容は、履歴として自動的に保存されます。入力履歴から選択するには、各欄右の[▼]をクリックします。  をクリックすると、[入力履歴の削除] ダイアログボックスが表示され、入力履歴が削除できます。削除手順の詳細は、「 入力履歴の削除 」をご覧ください。
検査部位	シリーズの検査部位を半角英字 16 字以内入力します。 入力した内容は、履歴として自動的に保存されます。入力履歴から選択するには、各欄右の[▼]をクリックします。  をクリックすると、[入力履歴の削除] ダイアログボックスが表示され、入力履歴が削除できます。削除手順の詳細は、「 入力履歴の削除 」をご覧ください。
シリーズ番号	取り込む画像のシリーズ番号を半角英数字で入力します。この項目は必ず入力してください。
シリーズ記述	シリーズに関する記述を入力します。

◆ 検査コメント

検査に関するコメントを、半角英数字で入力します。

◆ 画像取り込み先

インポートする画像の取り込み先を「TWAIN デバイス」、「外部ファイル」のいずれかから選択します。取り込み可能な外部ファイルのファイル種類は、PDF、ビットマップ、JPEG、TIFF です。

4. [次へ]をクリックします。

TWAINデバイスから画像を取り込む場合は、そのデバイスのTWAIN画面が表示されます。外部ファイルを選択した場合は、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

TWAINデバイスで原稿をスキャンする場合

5. TWAIN画面で画像の種類と用途に応じたスキャンモードや解像度を指定します。

TWAINの詳細な操作、設定方法についてはTWAIN機器に付属の取扱説明書でご確認ください。



TWAINデバイス製造メーカーが提供する[TWAINデータソース]ダイアログボックスで設定する取り込みオプションのイメージタイプは、カラー写真や白黒写真を選択してください。表現色がモノクロ(二値化された白黒)になる線画やOCR、COPY&FAXなどのイメージタイプは選択しないでください。

6. TWAIN画面で[スキャン(取り込み)]をクリックします。

スキャンが開始されます。スキャン終了後に、選択した検査に新しいシリーズが追加されます。

外部ファイルをインポートする場合

5. 新規シリーズとして追加するファイルを選択し、[開く]をクリックします。


選択した検査に新しいシリーズが追加されます。

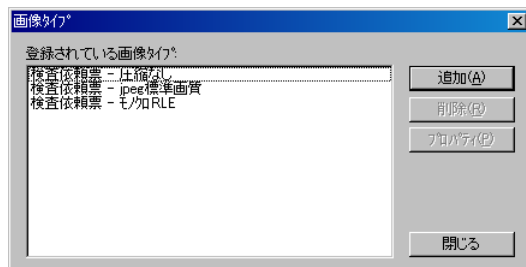
画像タイプの追加・修正・削除

画像をインポートする際、[追加シリーズの属性]ダイアログボックスの[画像タイプ]欄に適切な選択肢がない場合、画像タイプを追加登録します。画像タイプは、修正や削除もできます。

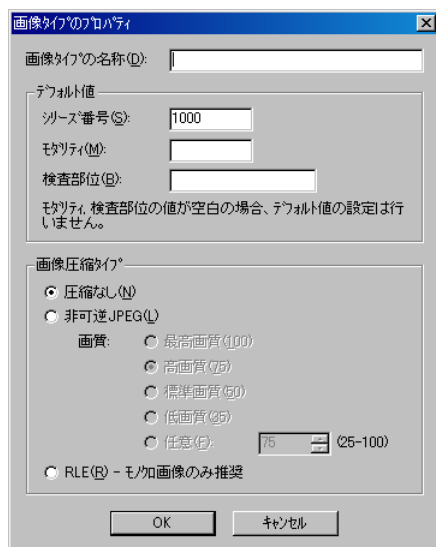
画像タイプを追加する

手順

- 次のいずれかを実行します。
 -  (シリーズのインポート)をクリックします。
 - [ファイル]メニュー → [シリーズのインポート]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスが表示されます。
- [画像タイプ]欄右の[...]をクリックします。
[画像タイプ]ダイアログボックスが表示されます。



- [追加]をクリックします。
[画像タイプのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



4. 各項目を設定します。

◆ 画像タイプの名称

任意の画像タイプの名前を入力します。

◆ デフォルト値

シリーズ属性の初期値を設定する場合は、各項目に入力します。

項目名	説明
シリーズ番号	シリーズ番号の初期値を半角数字で入力します。 この項目は必ず入力してください。
モダリティ	画像タイプのモダリティを半角英字 16 字以内で入力します。 この項目に入力しなかった場合、この画像タイプを選択すると、メインウィンドウで選択した検査のモダリティが[追加シリーズの属性]ダイアログボックスで表示されます。
検査部位	画像タイプの検査部位を、半角英字 16 字以内で入力します。 この項目に入力しなかった場合、この画像タイプを選択すると、メインウィンドウで選択した検査の検査部位が[追加シリーズの属性]ダイアログボックスで表示されます。

◆ 画像圧縮タイプ

画像の圧縮方式を「圧縮なし」、「非可逆 JPEG」、「RLE -モノクロ画像のみ推奨」から選択します。「非可逆 JPEG」を選択した場合は、画質も選択します。任意の画質にする場合は、25～100の範囲で数値を入力します。


5. [OK]をクリックします。

[画像タイプ]ダイアログボックスに戻ります。画像タイプが[登録されている画像タイプ]リストに追加されます。


6. [閉じる]をクリックします。

[追加シリーズの属性]ダイアログボックスに戻ります。

画像タイプを修正する

- 手順** 1. 次のいずれかを実行します。
-  (シリーズのインポート)をクリックします。
 - [ファイル]メニュー → [シリーズのインポート]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスが表示されます。
2. [画像タイプ]欄右の[...]をクリックします。
[画像タイプ]ダイアログボックスが表示されます。
3. 修正する画像タイプを選択し、[プロパティ]をクリックします。
[画像タイプのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要に応じて、各項目の設定を修正します。
5. [OK]をクリックします。
[画像タイプ]ダイアログボックスに戻ります。
6. [閉じる]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスに戻ります。

画像タイプを削除する

- 手順** 1. 次のいずれかを実行します。
-  (シリーズのインポート)をクリックします。
 - [ファイル]メニュー → [シリーズのインポート]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスが表示されます。
2. [画像タイプ]欄右の[...]をクリックします。
[画像タイプ]ダイアログボックスが表示されます。
3. 削除する画像タイプを選択し、[削除]をクリックします。



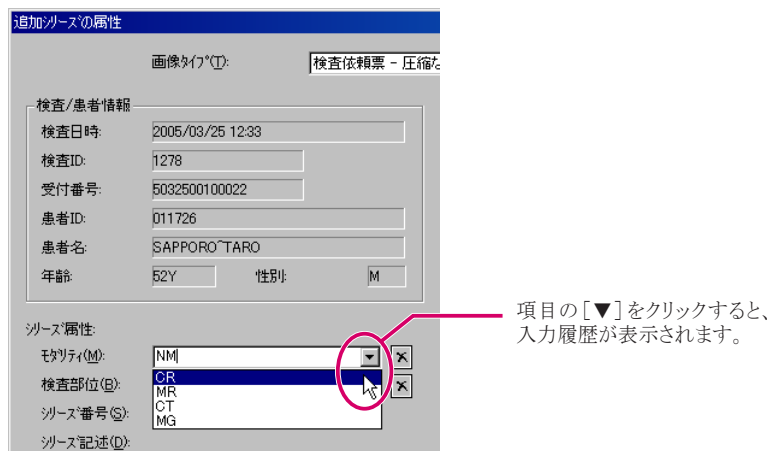
画像タイプの削除はキャンセルできません

[削除]をクリックした後に削除をキャンセルすることはできません。よくご確認のうえ、削除するようにしてください。

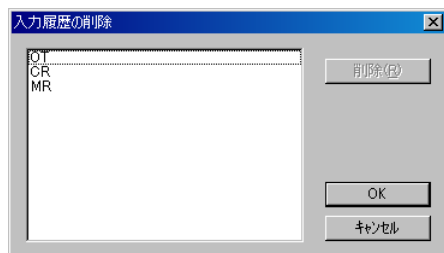
4. [閉じる]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスに戻ります。

入力履歴の削除

[追加シリーズの属性] ダイアログボックスの各項目に入力すると、入力した内容が自動登録されます。入力履歴は、[▼]のクリックで表示されます。不要な入力履歴は、以下の手順で削除できます。



- 手順** 1. 入力履歴を削除する項目の右側にある **X** をクリックします。
[入力履歴の削除]ダイアログボックスが表示されます。



2. 削除する入力履歴を選択し、[削除]をクリックします。
選択した入力履歴が削除されます。
3. [OK]をクリックします。
[追加シリーズの属性]ダイアログボックスに戻ります。

第6章

VOX-BASE/MANAGERの設定

この章では、MANAGERに関する設定をする[オプション]ダイアログボックスの各タブや設定内容について説明します。[オプション]ダイアログボックスには、[全般]、[表示]、[フォルダ]、[DICOMフォルダ]、[ビューア]、[モニター]の6つのタブがあります。

[全般]タブの設定

[全般]タブでは、MANAGERの全般の設定をします。

手順

1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて、各項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。



設定項目

◆ DICOMフォルダとアーカイブの情報

DICOMフォルダとアーカイブの情報の保持方法を選択します。この設定は、MANAGERの再起動後から有効になります。

選択肢	説明
システム共通	DICOMフォルダとアーカイブの情報を、お使いのコンピュータで共有にします。初期設定ではこの項目が選択されています。
ユーザーごとに保持	DICOMフォルダとアーカイブの情報を、Windowsにログインするユーザー別に保持します。

◆ アクティブDICOMフォルダの監視

アクティブDICOMフォルダの監視に関する設定をします。

項目	説明
起動時にファイルの差分をチェックする	起動時に、アクティブDICOMフォルダのファイル構成に変化があるかどうかをチェックするには、この項目をチェックします。 MANAGERが動作していない間、アクティブDICOMフォルダのファイル構成にまったく変更が生じない場合、この項目のチェックは外しても支障ありません。
更新までの待ち時間	アクティブDICOMフォルダに対して、検査画像の追加や削除をした後、データ更新処理を開始するまでの待ち時間を、秒単位で指定します。待ち時間の間に、ファイルの追加や削除がなければ、更新処理を行い、ファイルの追加や削除があれば、更新処理を延期します。 システムのパフォーマンス低下を防ぐため、アクティブDICOMフォルダへのファイル書き込みに費やす時間以上の値を設定してください。
スレッドの優先度	同じコンピュータ内の他のプロセスによるCPU占有などの理由で、アクティブDICOMフォルダを監視するスレッドにCPUが割り当てられず、検査リストが更新されない場合、優先度を高くしてください。 初期設定では「通常」が選択されています。

◆ 全般オプション

項目	説明
グループレンダスのタグを無視	DICOMファイルのスキャンの際、グループ長タグを無視してデータ要素を解析する場合は、この項目をチェックします。グループ長に誤りがある恐れのある場合は、この項目をチェックしてください。
RGB画像のリスケールを有効にする	光度測定解釈(DICOMタグ:0028, 0004)がRGB、またはARGBのとき、モダリティLUTモジュール属性(PS 3.3)のリスケール切片(0028, 1052)とリスケール傾斜(0028, 1053)を参照してモダリティLUT変換を行う場合、この項目をチェックします。初期設定では、この項目はチェックされていません。通常はこの項目をチェックしないでください。
メディア保存後のDICOMファイル自動削除を禁止する	メディア、またはバッファへの書き込み終了後に、アクティブDICOMフォルダ内のDICOMファイルを自動削除できないようにするには、この項目をチェックします。初期設定ではこの項目はチェックされています。
警告音を鳴らす	エラーやワーニングが発生したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを指定します。初期設定では、この項目はチェックされています。

- [検索条件]ダイアログの履歴一覧を削除するには、[クリア]をクリックしてください。
検索条件ダイアログボックスで入力した内容の履歴をすべて削除するには、[クリア]をクリックします。

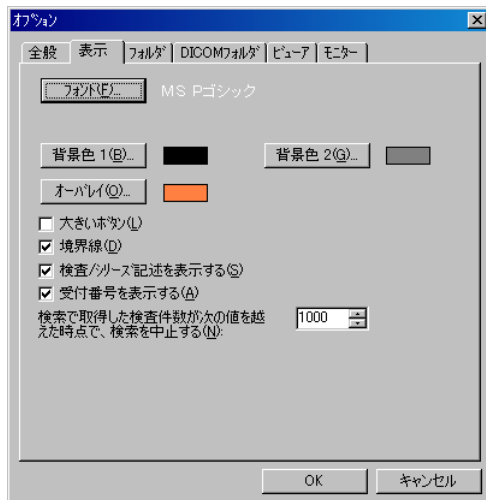
[表示]タブの設定

[表示]タブでは、画面の表示フォントやフォントの色、背景色など、MANAGER画面の外観に関する設定をします。

手順

1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
2. [表示]タブをクリックします。必要に応じて、各項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



◆ フォント

検査画像に表示される情報のフォントの種類やスタイル、サイズ、色を変更するには、このボタンをクリックします。

◆ 背景色1

検査画像の背景色を変更するには、このボタンをクリックします。

◆ 背景色2

同一検査内の2番目以降のシリーズの背景色を変更するには、このボタンをクリックします。

◆ オーバレイ

サムネイル画像のオーバレイの色を変更するには、このボタンをクリックします。なお、サムネイル画像作成後は、色の変更はできません。

◆ **大きいボタン**

この項目をチェックすると、ツールバーボタンや検索条件ダイアログボックスのフォントが大きく表示されます。

◆ **境界線**

この項目をチェックすると、各検査画像が境界線で囲まれます。初期設定でこの項目はチェックされています。

◆ **検査/シリーズ記述を表示する**

この項目をチェックすると、各検査画像の5行目に、検査記述 (DICOMタグ:0008, 1030)、またはシリーズ記述 (DICOMタグ:0008, 103E) を表示します。初期設定でこの項目はチェックされています。

◆ **受付番号を表示する**

この項目をチェックすると、各検査画像の4行目右端に、受付番号 (DICOMタグ:0008, 0050) が表示されます。チェックが外れている場合は、位置参照インジケータ (DICOMタグ:0020, 1040) が表示されます。初期設定でこの項目はチェックされています。

◆ **検索で取得した検査件数が次の値を越えた時点で、検索を中止する**

検索で抽出される検査数の上限を指定します。この上限を超えた時点で検索が中止されます。

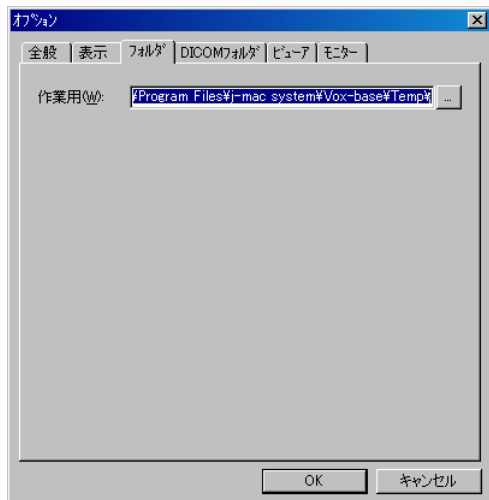
[フォルダ]タブの設定

[フォルダ]タブでは、サーバーからダウンロードしたファイルの保存先フォルダを指定します。

手順

1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
2. [フォルダ]タブをクリックします。必要に応じて、各項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



◆ 作業用

作業用ファイルを保存するフォルダを指定します。初期設定では、C:¥Program Files¥j-mac system¥Vox-base¥Temp¥が選択されています。作業用フォルダを変更するには、[...]をクリックし、[フォルダの参照]ダイアログボックス上でフォルダを選択します。[OK]をクリックすると、選択したフォルダのパスが入力されます。

[DICOM フォルダ]タブの設定

[DICOMフォルダ]タブでは、MANAGERによる検査画像の検索対象となるDICOMフォルダの登録と削除ができます。

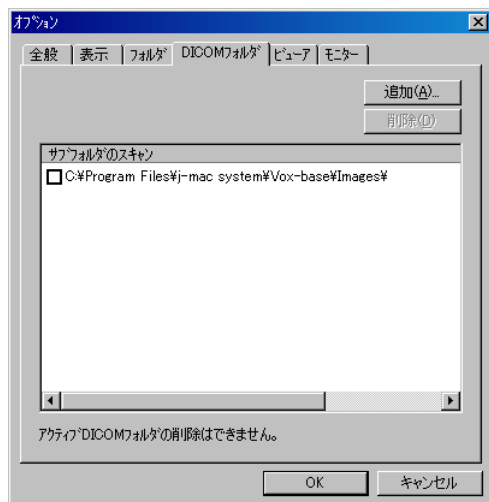
DICOM フォルダを追加する

- 手順** 1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

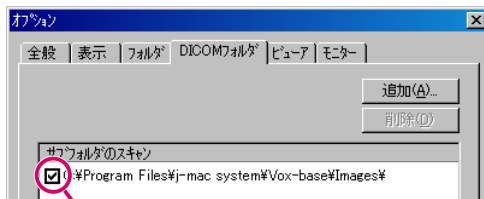
2. [DICOMフォルダ]タブをクリックします。
タブが切り替わります。



3. [追加]をクリックします。
[フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
4. 任意のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。
リストに、追加したDICOMフォルダのパスが表示されます。



5. 登録したDICOMフォルダのサブフォルダも検索対象にするには、[サブフォルダのスキャン]列のチェックボックスをチェックします。



登録したフォルダのサブフォルダも検索対象にするには、チェックします。

6. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

DICOM フォルダ登録を削除する

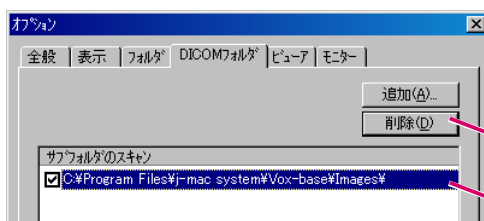
DICOMフォルダの登録を削除し、MANAGERの検索対象から外す手順です。



DICOMフォルダの登録を削除しても、フォルダ自体は削除されません。

手順

1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
2. [DICOMフォルダ]タブをクリックします。
タブが切り替わります。
3. 登録を削除するDICOMフォルダをクリックして選択します。
[削除]が有効になります。



フォルダ選択後にクリックします。

登録を削除するフォルダをクリックします。

4. 削除するフォルダを確認し、[削除]をクリックします。
選択したDICOMフォルダが、リストから削除されます。
5. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。



MANAGERで表示中のアクティブDICOMフォルダは削除できません。

[ビューア]タブの設定

[ビューア]タブでは、VIEWの実行ファイルの場所を指定します。

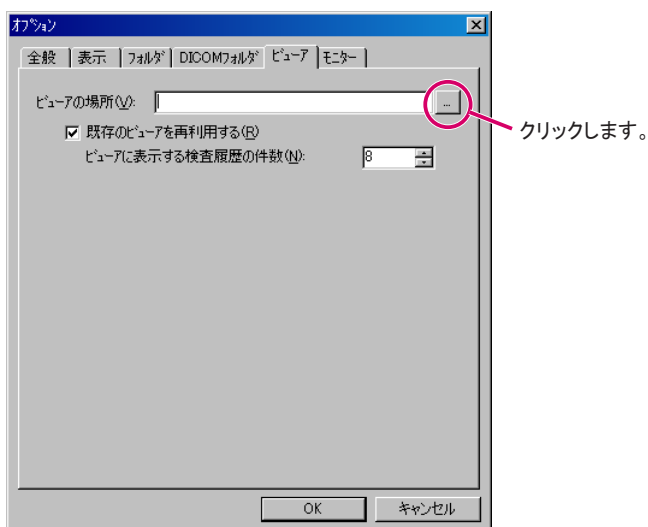
VIEWの実行ファイルの場所を指定する

- 手順** 1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。

[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [ビューア]タブをクリックします。

タブが切り替わります。



3. [ビューアの場所]欄右の[...]をクリックします。

[参照]ダイアログボックスが表示されます。

4. Vbw32j.exe (VIEWの実行ファイル)を選択し、[開く]をクリックします。

VIEWの実行ファイルへのパスが入力されます。

5. 検査画像ごとにビューアウィンドウを新たに開かず、同じウィンドウに検査画像を表示し続ける設定にするには、[既存のビューアを再利用する]をチェックします。初期設定では、この項目はチェックされておらず、検査画像をVIEWで表示すると、検査画像ごとに新たなウィンドウが開かれるようになっています。

6. VIEWで表示する検査履歴の最大件数を変更するには、[ビューアに表示する検査履歴の件数]欄の数値を0～100の範囲で入力します。

初期値は8件になっています。

7. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

[モニター]タブの設定

[モニター]タブでは、OSがWindows NT Workstation 4.0の環境において、複数のモニターでMANAGERを表示するときの設定をします。

Windows NT Workstation 4.0以外のOSをご利用の場合は、接続モニター数などが自動設定されるため、このタブの設定は必要ありません。

- 手順**
1. [表示]メニュー → [オプション]をクリックします。
[オプション]ダイアログボックスが表示されます。
 2. [モニター]タブをクリックします。必要に応じて、各項目を設定します。
設定項目の詳細については、次の「設定項目」をご覧ください。
 3. 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。
設定が有効になり、[オプション]ダイアログボックスが閉じられます。

設定項目



- ◆ **接続モニター数**
マルチモニターシステムにおける、接続モニター数を指定します。
- ◆ **上下の段数**
マルチモニターシステムにおける、モニター配列の上下の段数を指定します。

付録

DICOM ファイル仕様

MANAGERがサポートするDICOMファイル

MANAGERが対応している医用画像ファイル(DICOMファイル)の形式およびデータは、以下の表のとおりです。

以下の表の「表示の可/不可」のうち、「△」は、条件付きで表示可能であることを示します。

項目	詳細・表示条件	表示の可(○) /不可(×)
規格	DICOM Ver. 3.0	○
	ACR-NEMA Ver. 1.0、2.0	○
データ形式 (DICOMの場合)	暗黙的VRリトルエンディアン	○
	明示的VRリトルエンディアン	○
	暗黙的VRビッグエンディアン	○
データ形式 (ACR-NEMAの場合)	リトルエンディアン	○
	ビッグエンディアン	○
	ミドルエンディアン	○
DICOMの場合の光度測定解釈	MONOCHROME 1	○
	MONOCHROME 2	○
	RGB (32767色以上)	○
	PALETTE COLOR (32767色以上)	○
	ARGB (32767色以上、 α 面を無視) (退役)	○
	CMYK	×
	YBR_FULL	×
	YBR_FULL_422 (非可逆JPEG圧縮RGB画像のみ)	△
	YBR_PARTIAL_422	×
格納ビット数	8	○
	12	×
	16	○

項目	詳細・表示条件	表示の可(○) /不可(×)
面構成	面単位	○
	画素単位	○
オーバーレイデータ	独立	○
	画素データ埋め込み	○
	複数フレーム	○
パレットカラー	セグメント化	○
	非セグメント化	○
画素データの符号化	非可逆 JPEG8ビット圧縮	○
	非可逆 JPEG12ビット圧縮	○
	可逆 JPEG 圧縮	○
	JPEG2000 RLE 圧縮	○
複数フレーム画素データ	符号化なし	○
	符号化あり	○

MANAGERが作成する DICOM ファイル仕様

MANAGERで原稿を取り込んで作成したDICOMファイルに付加されるDICOMタグの一覧です。

表現色が8ビットグレーの場合

タグ	属性名	値
(0028, 0002)	画素あたりサンプル	1
(0028, 0004)	光度測定解釈	MONOCHROME 2
(0028, 0006)	面構成	0
(0028, 0100)	割り当ビット	8
(0028, 0101)	格納ビット	8
(0028, 0102)	高位ビット	7
(0028, 0103)	画素表現	0

表現色が24ビットカラーの場合

タグ	属性名	値
(0028, 0002)	画素あたりサンプル	3
(0028, 0004)	光度測定解釈	RGB、またはRGB_FULL_422 (JPEG圧縮の場合)
(0028, 0006)	面構成	0
(0028, 0100)	割当ビット	8
(0028, 0101)	格納ビット	8
(0028, 0102)	高位ビット	7
(0028, 0103)	画素表現	0

8、24ビットカラーに共通な仕様

8ビットグレイ、および24ビットカラーに共通なDICOMファイルの仕様です。ただし、MANAGERは、表現色がモノクロ(二値化データ)の画像には、対応していません。

タグ	属性名	値
(0008, 0005)	特定文字集合	ISO 2022 IR 13¥ISO 2022 IR 87
(0008, 0012)	インスタンス生成日時	ファイルを生成した日付
(0008, 0013)	インスタンス生成時刻	ファイルを生成した時刻
(0008, 0016)	SOPクラスUID	1.2.840.10008.5.1.4.1.1.7 (二次取得画像保存 SOPクラス)
(0008, 0018)	SOPインスタンスUID	「1.2.392.200036.9132.301.」で始まる文字列
(0008, 0021)	シリーズ日付	最初に画像を取り込んだ日付
(0008, 0031)	シリーズ時刻	最初に画像を取り込んだ時刻
(0008, 0060)	モダリティ	シリーズ属性フィールドのモダリティの値
(0008, 0064)	変換形式	DI
(0008, 0070)	製造者	J-MAC SYSTEM, INC.
(0008, 0080)	施設名	管理者フィールドの施設名の値
(0008, 1050)	実施医師の名前	管理者フィールドの実施医師の名前
(0008, 1060)	検査読影医師名	管理者フィールドの読影医師名の値
(0008, 1070)	操作者の名前	管理者フィールドのオペレータの値
(0008, 1090)	製造者モデル名	VOX-BASE/MANAGER
(0008, 103E)	シリーズ記述	シリーズ属性フィールドのシリーズ記述の値
(0018, 0015)	検査される部位	シリーズ属性フィールドの検査部位の値

タグ	属性名	値
(0018, 1012)	二次取得の日付	画像を取り込んだ日付
(0018, 1014)	二次取得の時刻	画像を取り込んだ時刻
(0020, 0011)	シリーズ番号	シリーズ属性フィールドのシリーズ番号の値
(0020, 4000)	画像コメント	画像をJPEG圧縮したときコメントを記述
(0028, 2110)	非可逆画像圧縮	01 (JPEG圧縮の場合)
(0032, 1032)	依頼側医師	管理者フィールドの依頼医師名の値
(0032, 1033)	依頼側サービス	管理者フィールドの依頼施設名の値
(0032, 4000)	検査コメント	検査コメントの値

VOX-BASE PERSONAL/MANAGER User's Guide

2009年10月15日 第8版

イーサイトヘルスケア株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町2丁目5番5号

神田駅前SKビル

TEL: 03-3252-1721

E-mail: sales@esite-hc.com

URL: <http://www.esite-hc.com/>